



2026年度  
静岡国道事務所 事業概要

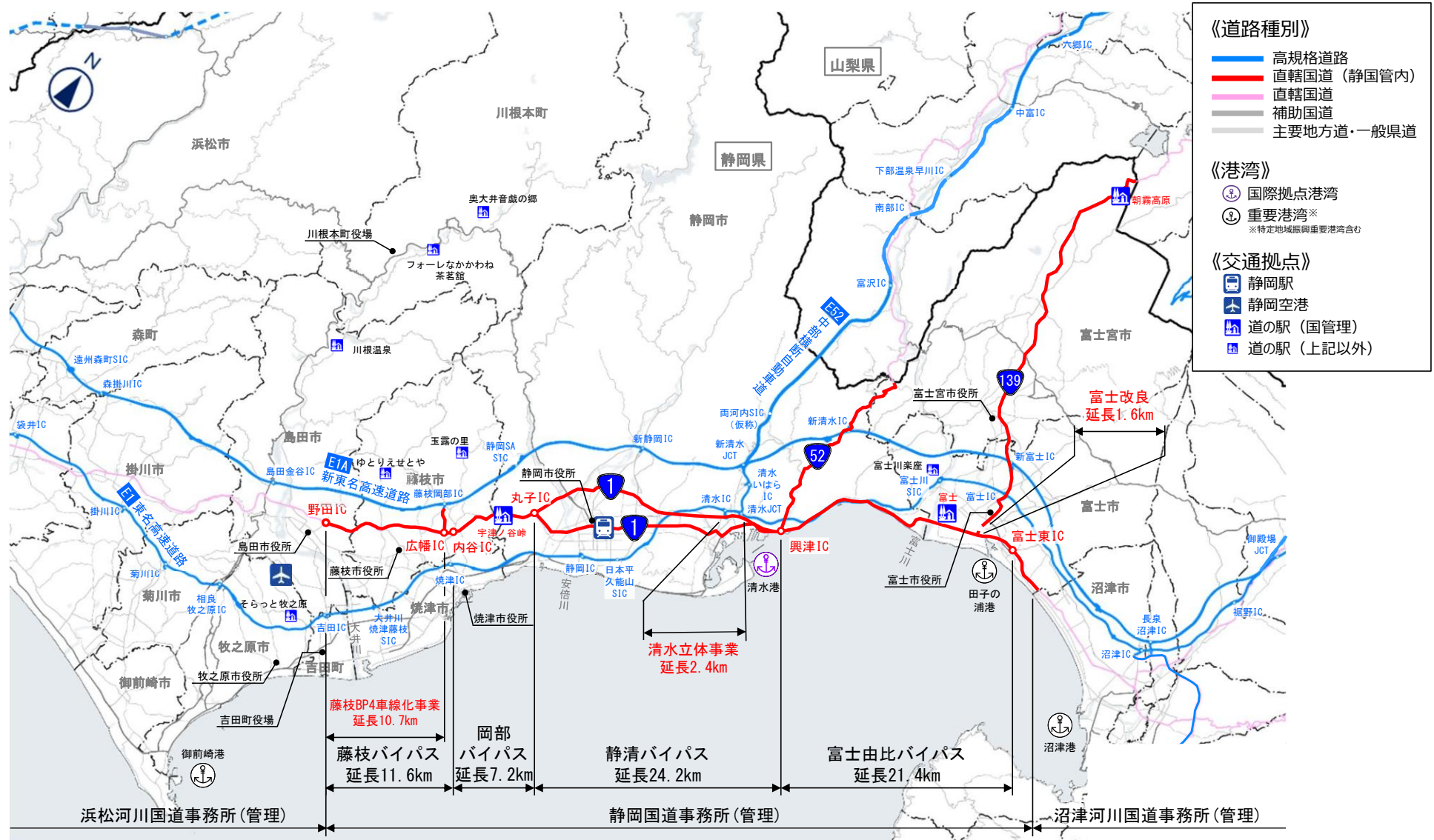
令和8年4月

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

# 目 次

1. 静岡国道事務所の管内	1	10. 交通安全の推進	43
2. 令和8年度の主な事業	2	11. 無電柱化の推進	45
3. 令和8年度予算と推移	3	12. 標識改善	46
4. 道路ネットワークの機能強化（改築事業）		13. 住民参加型の道路管理	47
国道1号 静清バイパス 清水立体	4	14. 道路を活かした地域の活性化	49
国道1号 藤枝バイパス	8	15. 自転車の利用環境の整備と活用促進	52
国道139号 富士改良	12	16. 地域への情報発信	57
国道1号 富士由比バイパス（富士立体）	14	17. 建設業の課題解決に向けた取り組み	58
5. 局所渋滞対策事業	16		
6. 管内の将来的なネットワーク機能強化（道路調査）	18		
7. 「道の駅」の機能強化	24		
8. 道路管理	28		
9. 災害への備え	36		

# 1 静岡国道事務所の管内



路線名	管理区間		延長 (km)	管理延長内訳			
	起点	終点		静岡国道維持出張所		富士国道維持出張所	
1号	富士市中里字大角2515番1	島田市野田字鎌研1603番1	(23.4) 92.4	新富士川橋右岸から 島田市野田	(23.4) 80.5	富士市中里から 新富士川橋右岸	11.9
52号	静岡市清水区興津中町字弁天 前622番	山梨県南巨摩郡南部町大字万 沢字境川官有無番地	19.5	静岡市清水区興津中町から 山梨県南巨摩郡南部町	19.5	—	—
139号	富士市中丸字木ノ市28番3	富士宮市根原字豊住176番1	36.9	—	—	富士市中丸から 富士宮市根原	36.9
計			(23.4) 148.8	—	(23.4) 99.9		48.8

※( )内書きはダブルウェイ区間の延長。  
※計数はそれぞれ四捨五入によっているため、  
端数において合計と一致しない場合がある。

## 2 令和8年度の主な事業

### ○改築

道路ネットワークの機能強化を図るため、東名高速等の国土軸と拠点都市、港湾を連絡する<sup>せいしん</sup>静清バイパス、工業団地、企業活動の支援に寄与する<sup>ふじえだ</sup>藤枝バイパス、<sup>ふじ</sup>富士改良の整備、<sup>ふじゆい</sup>富士由比バイパス(富士立体)の調査設計を推進。

### ○道路調査

静岡南北道路<sup>ながぬまりったい</sup>長沼立体等の調査や道路ネットワーク上の交通拠点となる静岡駅や「道の駅」の機能強化を推進。

### ○維持修繕

橋梁やトンネル等の道路構造物の維持修繕、長寿命化を図るため点検・診断・補修を進めるとともに、地方公共団体と一体となって道路メンテナンスを推進するための会議を実施。

### ○防災

整備した道路ネットワークを前提に、令和6年度の能登半島地震を踏まえた南海トラフ巨大地震時「くしの歯ルート」や最新の被害想定を踏まえた具体の啓開計画の検討、実効性の高い啓開訓練等を実施。



改築 (国道1号藤枝バイパス4車線化事業)



拠点 (道の駅「朝霧高原」)



維持修繕 (道路メンテナンス会議)



道路調査 (静岡南北道路長沼立体)



維持修繕

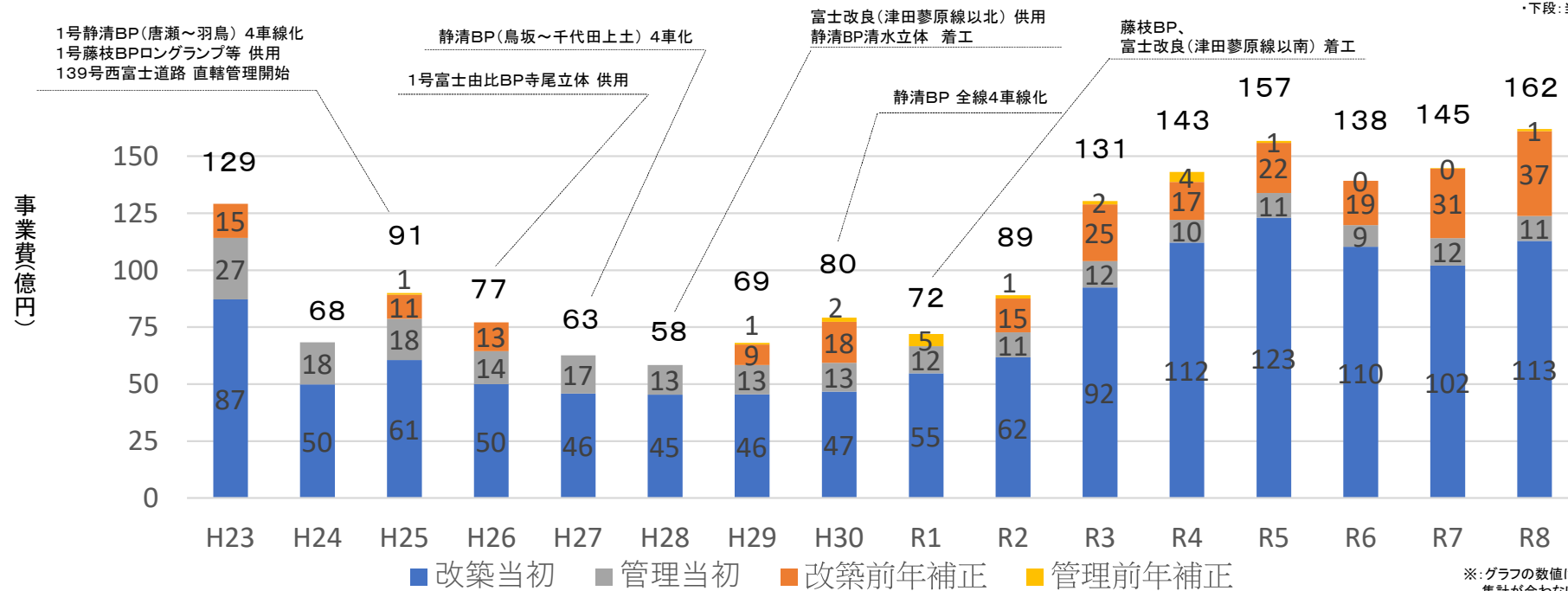


道路啓開訓練

### 3 令和8年度予算と推移

事業名		R5補正	R6当初	R6補正	R7当初	R7補正	R8当初	伸率 (R8/R7)
改築	国道1号 静清BP	940	6,630	1,510	5,162	1,383	5,224	0.99 1.01
	国道1号 藤枝BP	1,000	2,854	1,390	2,884	2,133	3,830	1.40 1.33
	国道1号 富士由比BP	0	27	0	40	0	198	4.95 4.95
	国道139号 富士改良	0	1,517	150	2,101	200	1,943	0.95 0.92
	国道139号 小泉若宮	0	0	0	10	0	90	9.00 9.00
	小計 (百万円)	1,940	11,028	3,050	10,197	3,716	11,285	1.13 1.10
管理	無電柱化	0	228	0	307	120	279	1.30 0.91
	交通安全	0	721	30	899	45	817	0.93 0.91
事務所計(百万円)		1,940	11,977	3,080	11,393	3,881	12,291	1.12 1.08

※:伸率は、下記の通り。  
 ・上段:当初+前年度補正  
 ・下段:当初

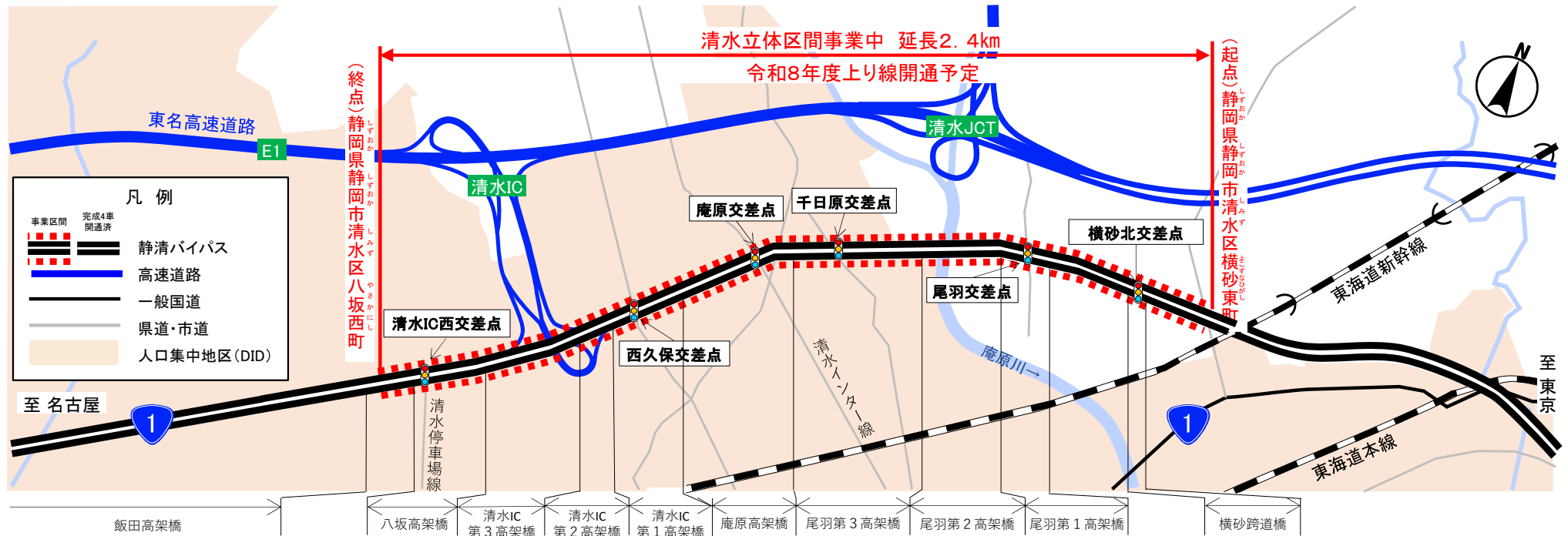


※:グラフの数値は、四捨五入のため、集計が合わない場合がある。

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号静岡バイパス清水立体

- 静岡バイパスのうち、唯一平面で残る東名清水IC周辺を高架化する国道1号静岡バイパス清水立体事業は、平成28年度に工事着手。
- 早期に整備効果を発現させるため、東京向きの上り線の工事を優先的に推進。令和7年度に上り線全ての橋桁の架設が完了し、令和8年度内上り線開通を予定。
- 令和8年度は、上り線の床版工事、舗装工事、道路標識や照明設備などの道路附属物の整備工事を実施。



### 令和8年度の主な事業内容

- ◆調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆用地買収推進: 清水IC地区用地買収、移転補償
- ◆工事推進 : 横砂地区ほか改良工  
清水IC第2高架橋ほか上部工  
飯田地区ほか舗装工、標識整備工  
照明設備工、情報BOX設備工

### ■清水立体区間の工事状況



## 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

### ○国道1号静岡バイパス 清水立体

○静岡バイパス本線を介して清水港と東名高速道路、新東名高速道路、中部横断自動車道が直結。



※清水立体事業と合わせ信号撤去予定

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

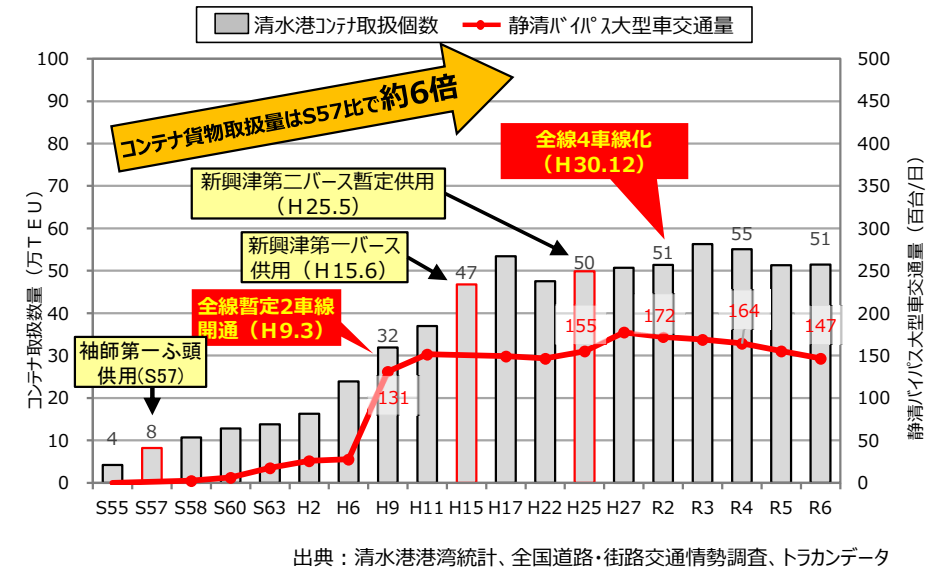
## ○国道1号静岡バイパス 清水立体 整備効果

- 静岡バイパス沿線には、新たな物流拠点の立地が顕著、バイパス整備と相まって清水港の取扱貨物量は増加。
- 清水立体上り線開通により、清水港から物流拠点への輸送時間が短縮し、更なる港湾物流の活性化が期待。

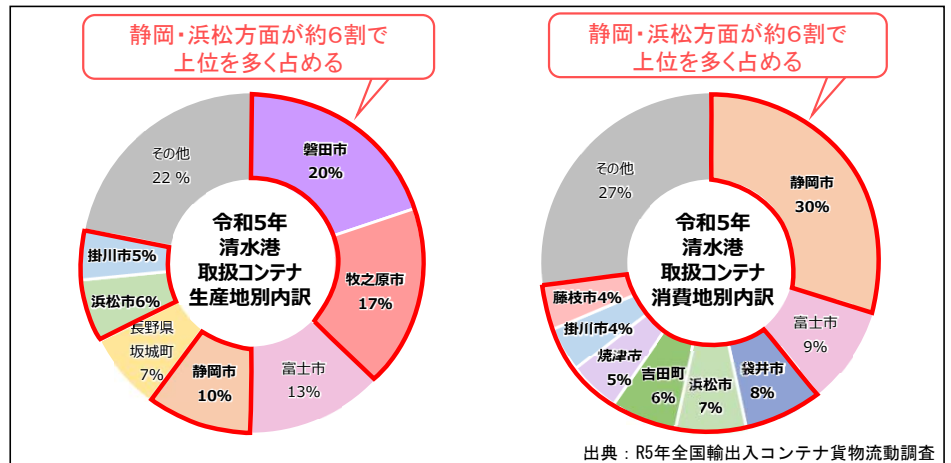
### ■新規立地物流拠点及び清水港への利用経路



### ■静岡BP大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移



### ■清水港取扱貨物の生産地と消費地

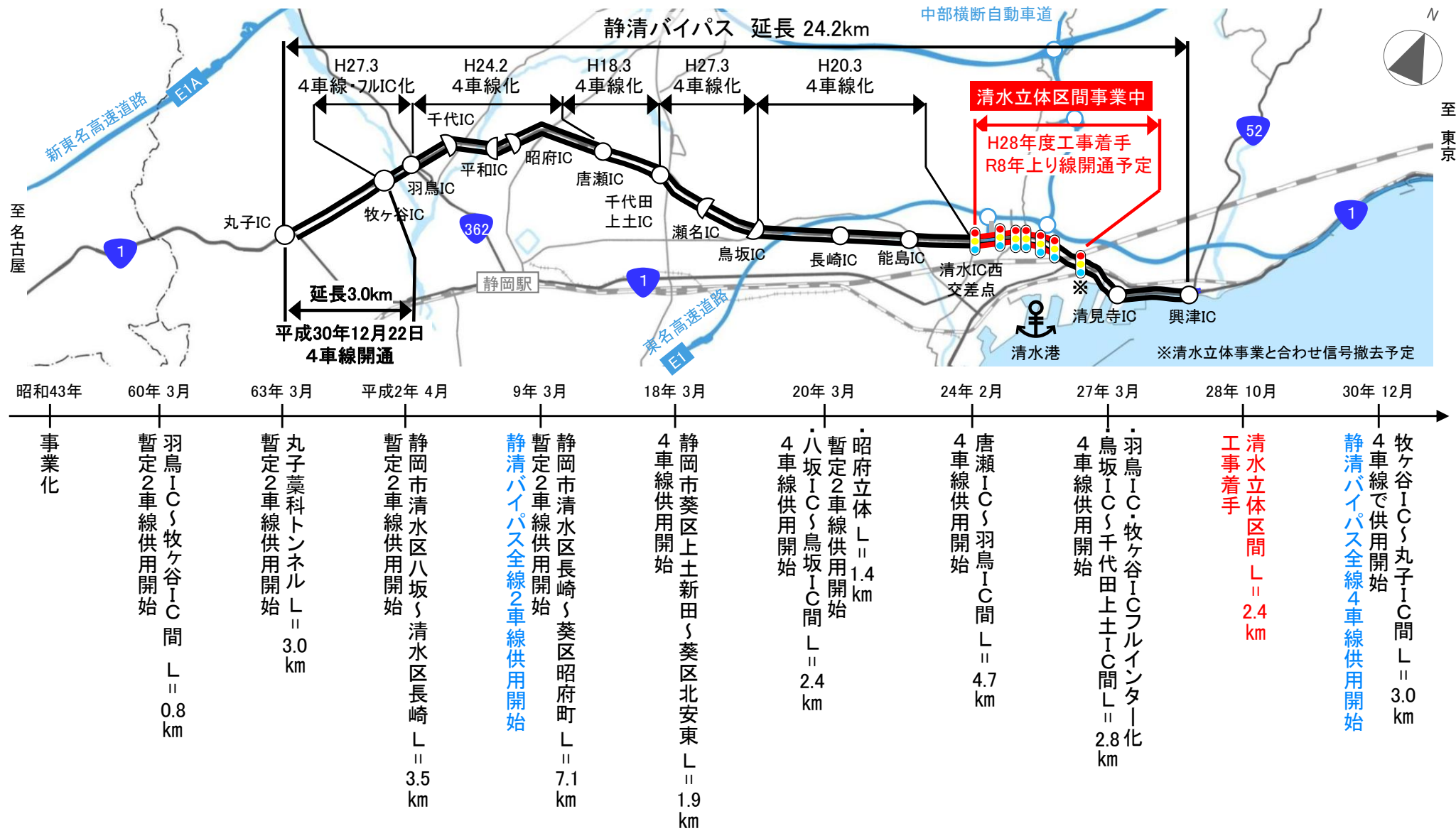


# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○(参考)国道1号静岡清水バイパス事業経緯

○国道1号静岡清水バイパスは、静岡市清水区興津東町から、静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、交通事故の削減、災害に強い道路機能の確保、地域企業の産業活動支援を目的に計画された道路。

○唯一、平面で残る東名清水IC周辺を高架化する「清水立体事業」を現在推進中。

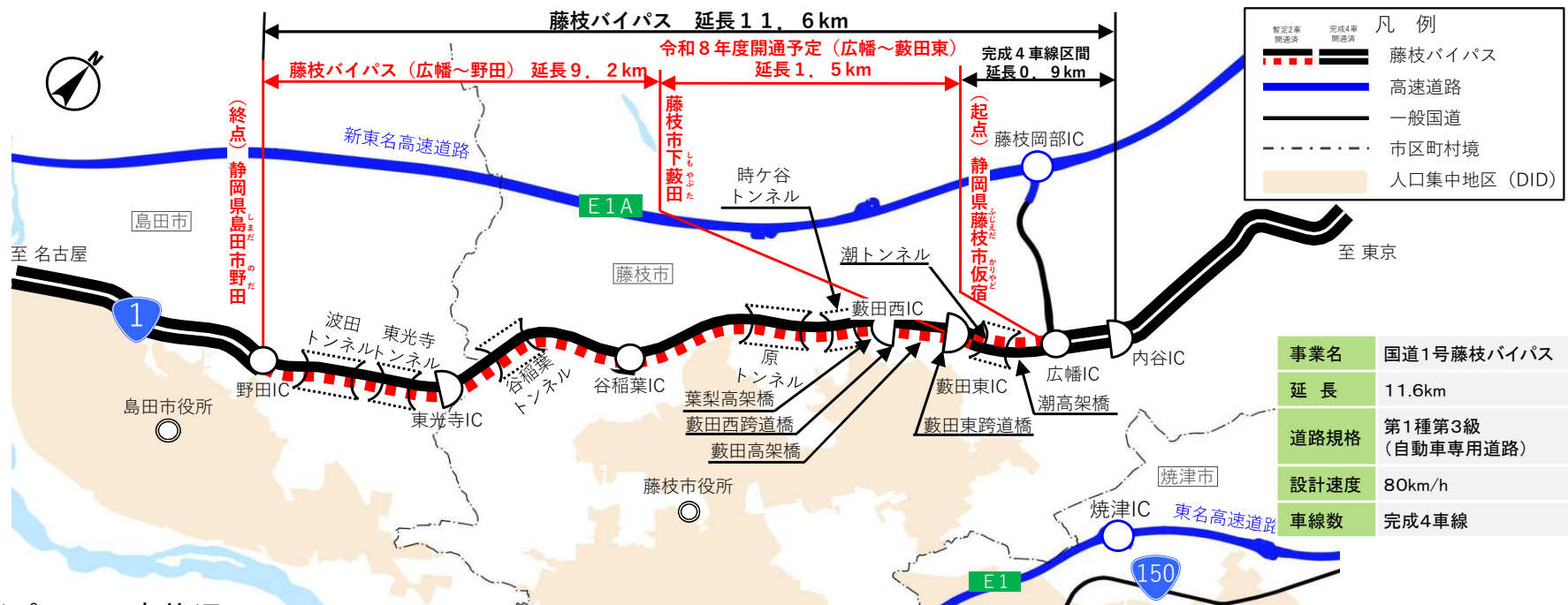


# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号藤枝バイパス

○国道1号藤枝バイパスは、交通渋滞の改善を図り、企業活動の支援及び市街地部の交通安全確保を目的に平成28年度に4車線化に着手。令和5年度には潮トンネルが貫通し、Ⅱ期線潮高架橋の架設が完了。広幡IC～藪田東IC間の令和8年度4車線化開通を予定。令和7年4月から走行車線の切り回しを実施。

○令和8年度は開通予定区間の、改良工事、舗装工事等を実施。藪田東IC以西においては、原トンネル、葉梨高架橋下部工事を推進。



### ■ 藤枝バイパスの工事状況



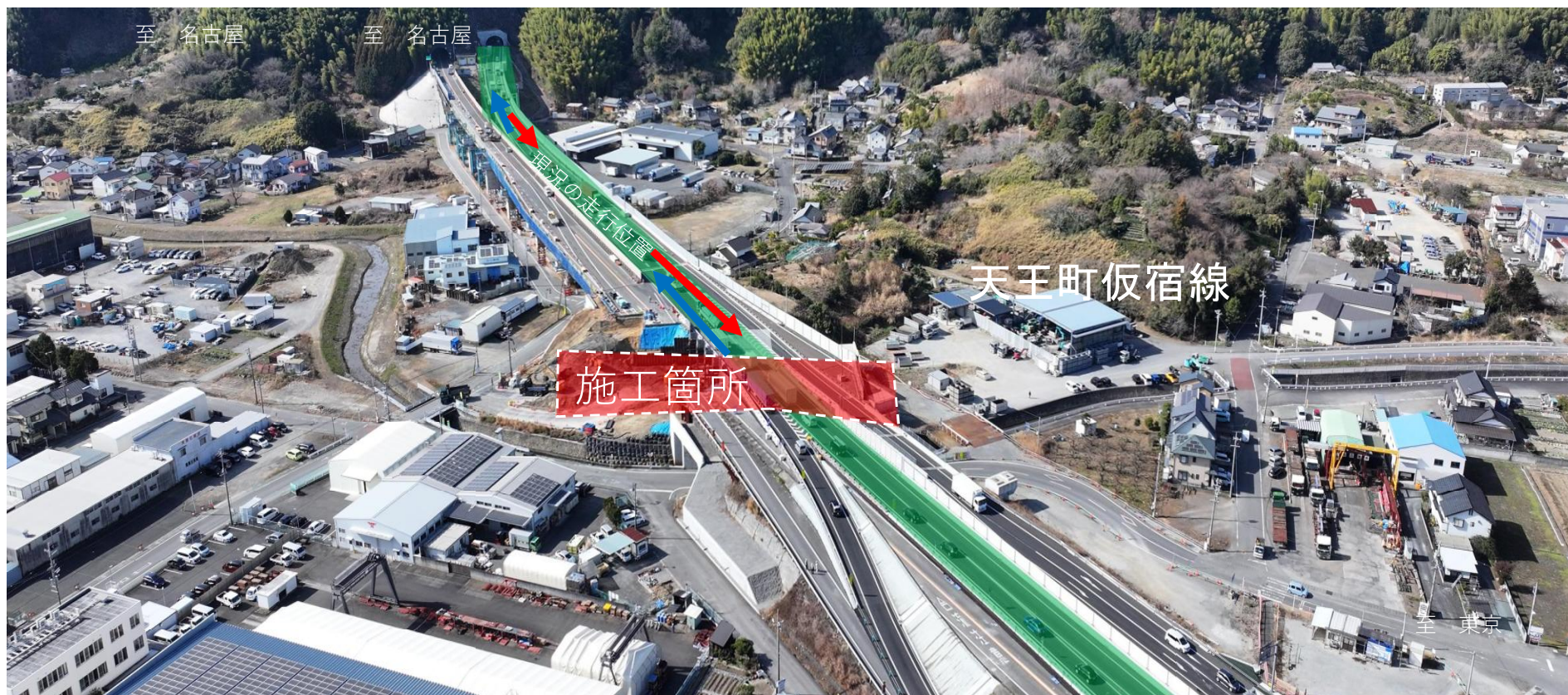
### 令和8年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 環境調査、水文調査、調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地推進 : 時ヶ谷地区用地買収
- ◆ 工事推進 : 原トンネル工、仮宿地区ほか改良工、潮高架橋上部工、葉梨高架橋下部工、潮藪田地区舗装工

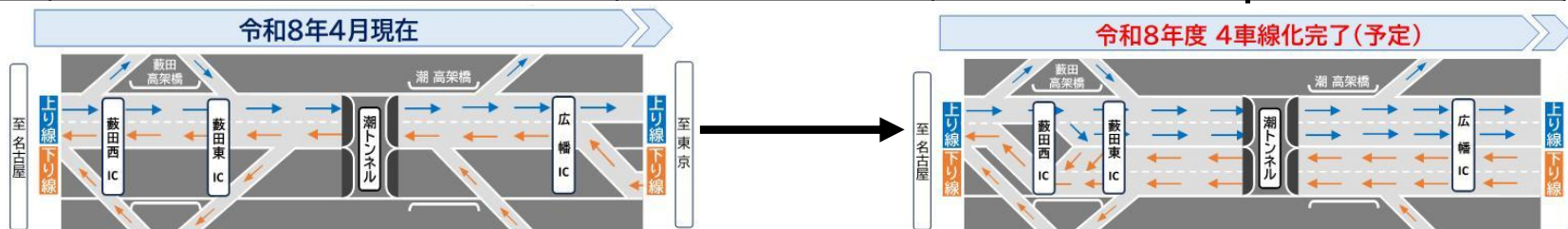
# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号藤枝バイパス 4車線化までの切回し(広幡IC~潮トンネル)

○藤枝バイパス広幡IC~藪田東IC間については、令和8年度からの4車線化供用に向け、令和7年9月から下り線の交通を上り線に切り替え、天王町仮宿線(施工箇所)の工事を推進。



	R7	R8 開通予定年度	R9
広幡IC~藪田東IC	交通切替え		
函渠工(新設都市道)	(都) 函渠工<開削>二次施工		
潮高架橋・ランプ橋(広幡IC西側の4車線化)	上部工	舗装工	



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

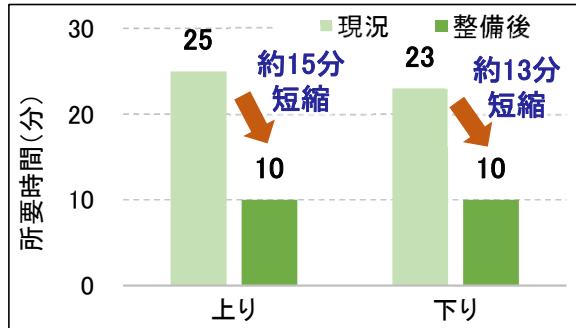
## ○国道1号藤枝バイパス 整備効果

- 藤枝バイパスの4車線化による渋滞緩和により広幡IC～野田IC間の所要時間が短縮。物流の効率化を図り、藤枝・島田地域の円滑な企業活動を支援。
- 渋滞緩和により県道や街路から藤枝バイパスへ交通が転換することで、市街地の死傷事故率の低下が期待。

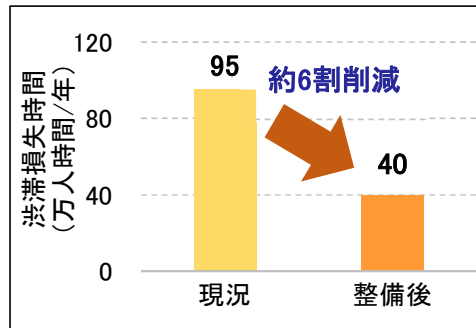
### ■藤枝市・島田市の物流輸送を支える藤枝バイパス



### ■藤枝バイパス4車線化による時間短縮効果(広幡IC～野田IC)

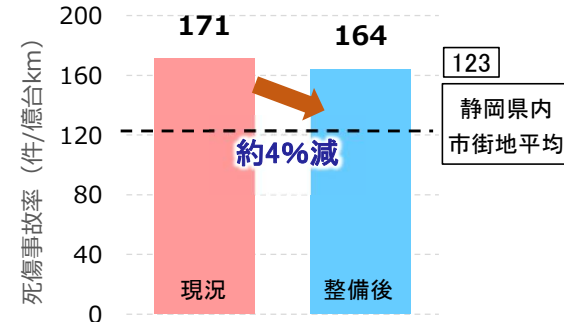


現況 : ETC2.0データ(R7.4平日)ピーク時旅行速度  
整備後: 藤枝バイパス事業区間は60km/hで算出



現況 : R6.9-11月値  
整備後: 交通量推計結果(R22)より算出

### ■藤枝市街地の平均死傷事故率



### ・平均死傷事故率

現況: 交通事故統合データベース(R2~R5年平均)  
整備後: 交通量配分結果より整備前後の変動率を算出し現況に乗じて算出

- ・市街地定義: 代表沿道状況が「人口集中地区」「その他市街部」の道路
- ・抽出道路: 国道を除く一般県道・地方主要道を対象

### ■道路網強化による医療サービスの向上

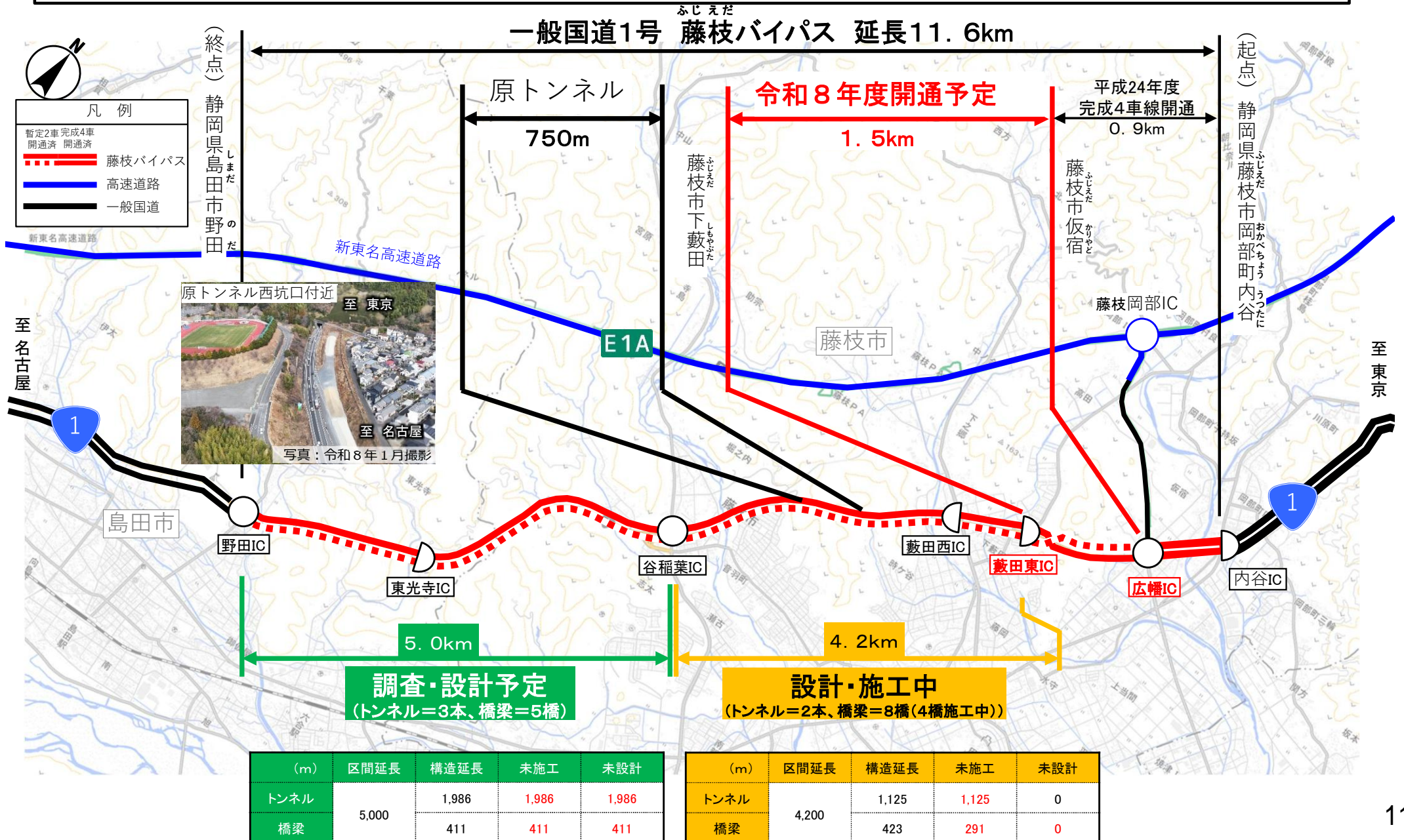


速度データ: 平日ETC2.0データ(R7.4月)7時台平均旅行速度  
※整備後: 藤枝バイパス事業区間は60km/hで算出

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号藤枝バイパスの今後の展開

- ひろはた やぶ た ひがし 広幡IC～ふじえだ 藪田東IC間の開通後、早期の全線4車線化開通を目指し藪田東IC以西のトンネル、橋梁設計を実施。
- はら 原トンネルについては、自動施工技術を活用し、施工の省人化を図り、工事を実施。



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道139号富士改良

○国道139号富士改良は、富士市内の南北軸を形成する国道139号と国道1号を接続し、富士市街部の交通混雑の緩和を図ることを目的に、平成5年度に着手。平成28年3月に(都)津田蓼原線以北を供用。

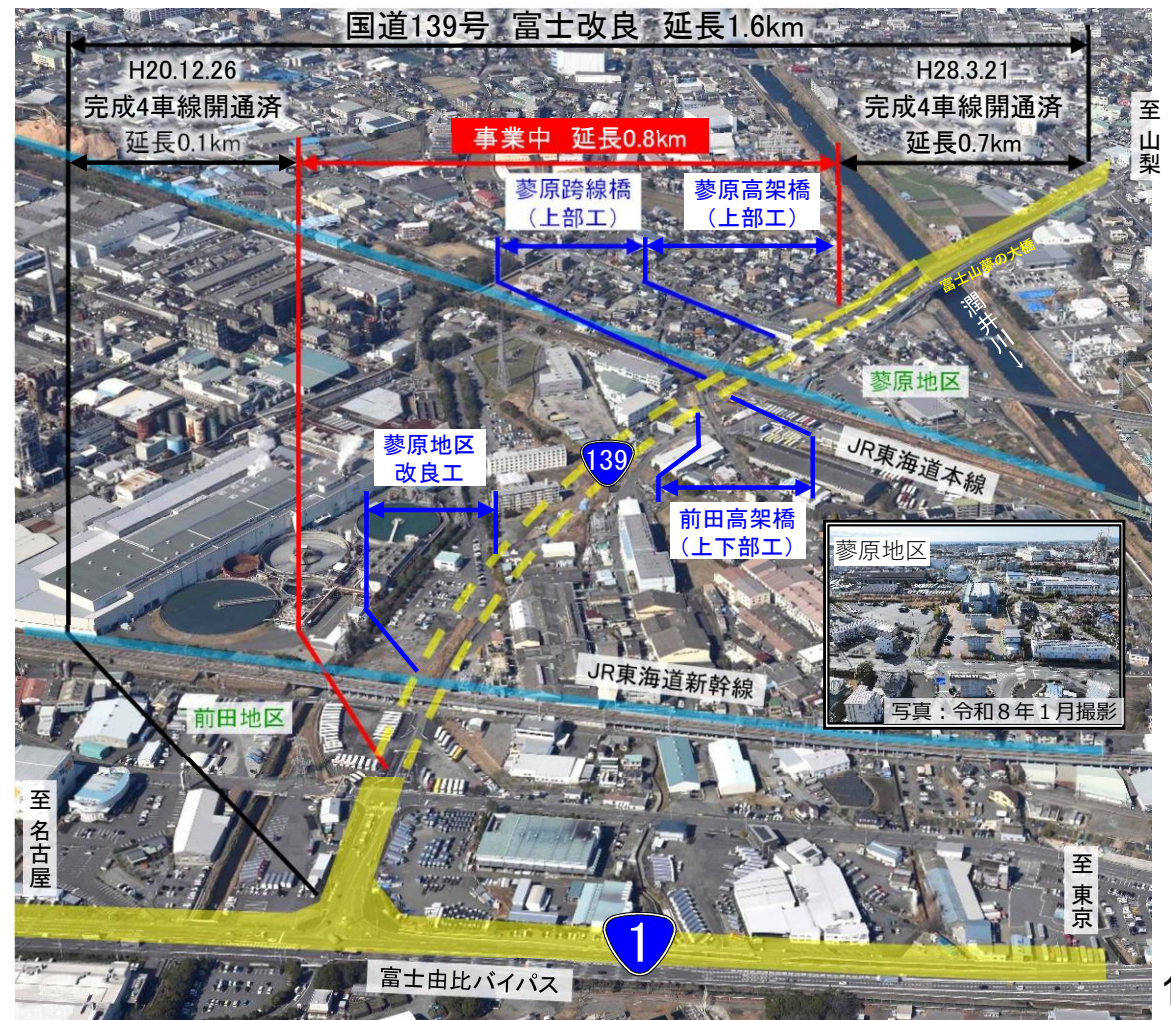
○令和元年度に蓼原高架橋の下部工事に着手。令和2年度に移転補償契約、令和3年度に鉄道委託協定を締結、令和5年度から令和7年度はJR東海道本線を跨ぐ蓼原跨線橋の上下部工事、架設工事等を実施。

○令和8年度は、蓼原跨線橋・蓼原高架橋の上部工、蓼原地区の改良工、前田高架橋の上下部工事を推進。



### 令和8年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 工事推進 : 蓼原跨線橋・蓼原高架橋の上部工、  
蓼原地区改良工  
前田高架橋上部工, 前田高架橋下部工



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道139号富士改良 整備効果

○富士市街地(青島交差点)から直線的に国道1号へアクセスが可能となり、国道139号現道経由に比べ所要時間が短縮。並行路線から富士改良区間へ交通を転換させることで周辺道路を含めた死傷事故の削減が期待。

○田子の浦港と工業団地の所要時間が短縮され、富士市・富士宮市の物流効率化に大きく貢献。

### ■国道139号現道部の状況



[信号交差点による渋滞状況]

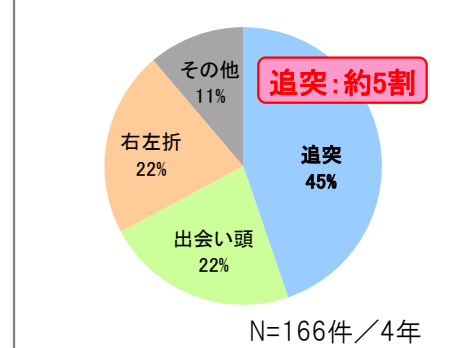


[鉄道踏切による渋滞状況]

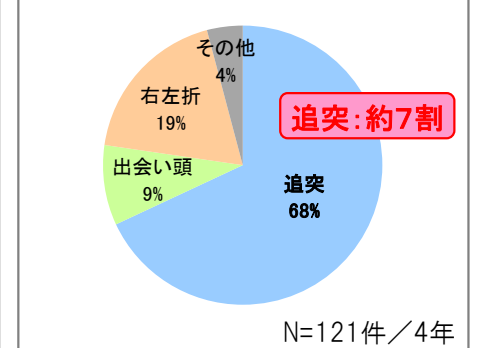


### ■富士改良並行路線の死傷事故類型(R2~R5)

[(都)田子浦伝法線・(県)富士停車場線]



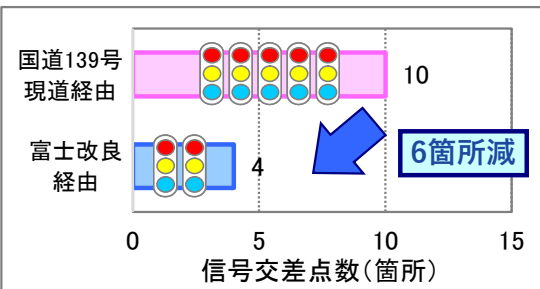
[国道139号現道]



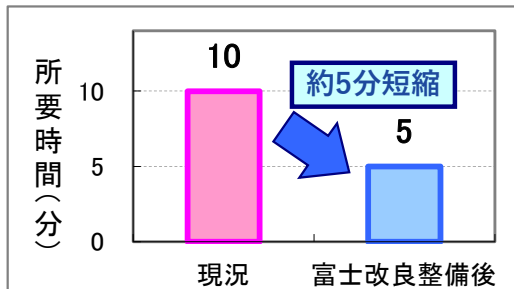
出典: 交通事故総合データベース(R2~R5)

### ■富士市街地から国道1号へのアクセス性向上

《富士市街地~国道1号までの信号交差点数》



《富士市街地~国道1号へのアクセス時間短縮》



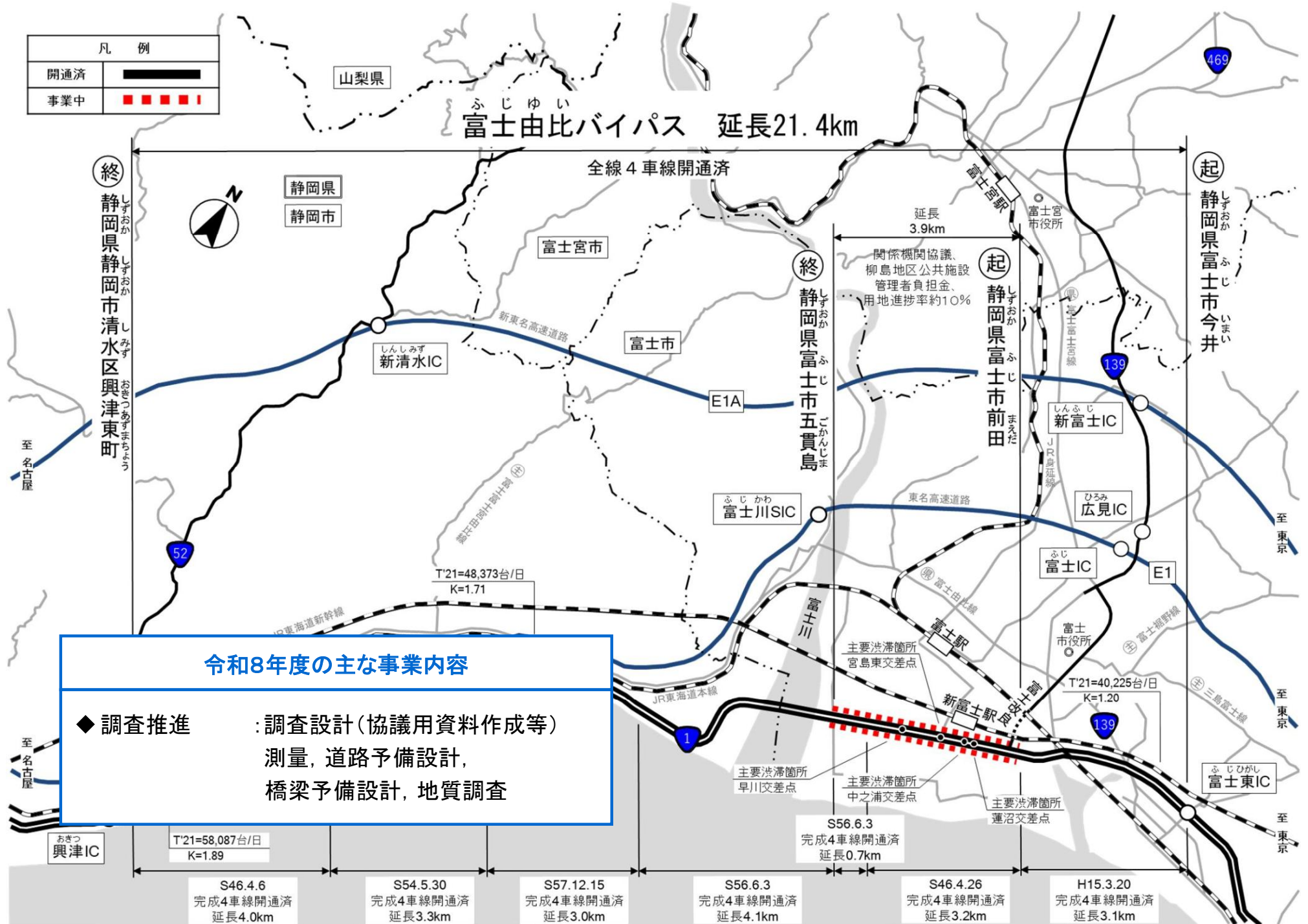
※ 現況: 国道139号現道における平日ETC2.0データ(R7.11月)平日7時台を基に算出  
 将来: 未整備区間は設計速度60km/hで計算、その他区間はETC2.0プロプデータ(R7.11月)平日7時台を基に算出

### ■田子の浦港~工業団地の所要時間短縮効果



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号富士由比バイパス(富士立体)



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号富士由比バイパス(富士立体)

- 国道1号富士由比BPは富士市今井から静岡市清水区(延長21.4km)の内、平面区間として残存する富士市前田から富士市五貫島(延長3.9km)を立体化し、慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした事業。
- 令和8年度は、交通特性を踏まえた将来交通予測分析を行い交通課題を残存させないよう道路構造の検討を実施。
- 岳南地域関係者の協力を得ながら、橋梁設計、道路設計を実施。

### ■都市計画道路の整備状況

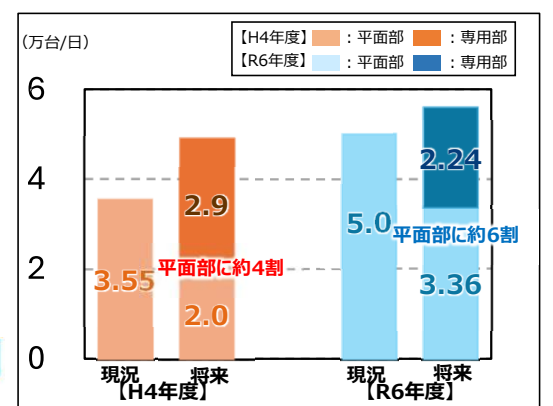


出典：国土数値情報 R4都市計画決定情報データ(都市計画道路)  
地図出典：国土交通省 国土地理院

### ■市街地開発事業

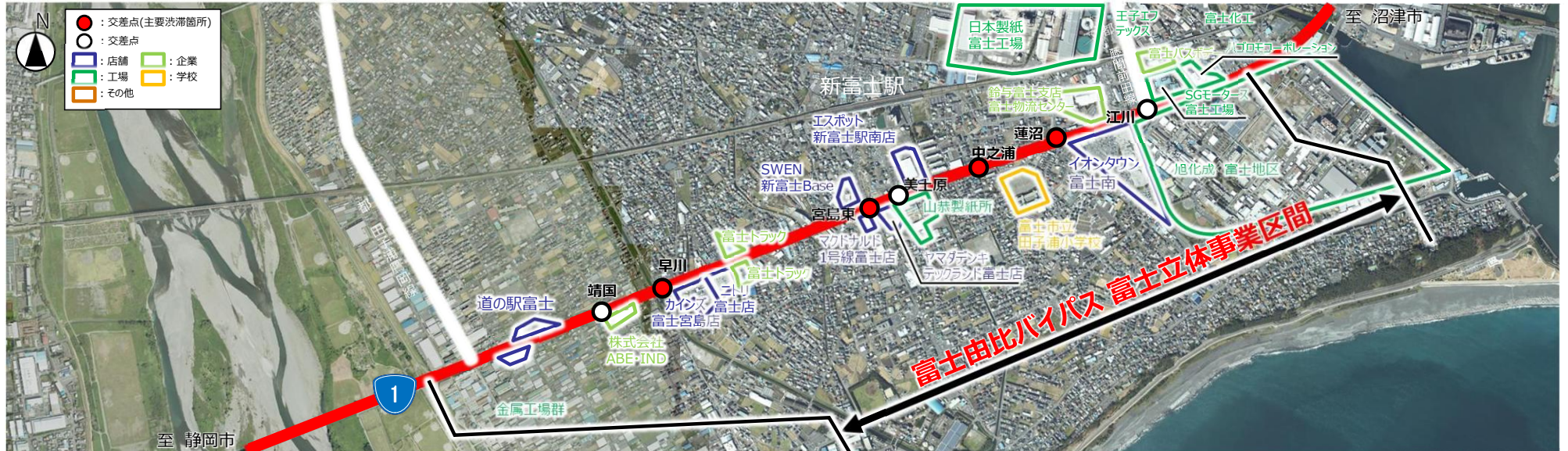


### ■交通量推移(都計時点⇒現在)



H4年度交通量：1号富士由比バイパス調査概要書(S63道路交通センサ)  
R6年度交通量：各交差点の交通実態調査及び交通量推計結果

### ■現在の交通状況、主な沿道施設・開発状況



出典：国土交通省 国土地理院  
交通量：R6.5.23(木) 交通実態調査

# 5 局所渋滞対策事業

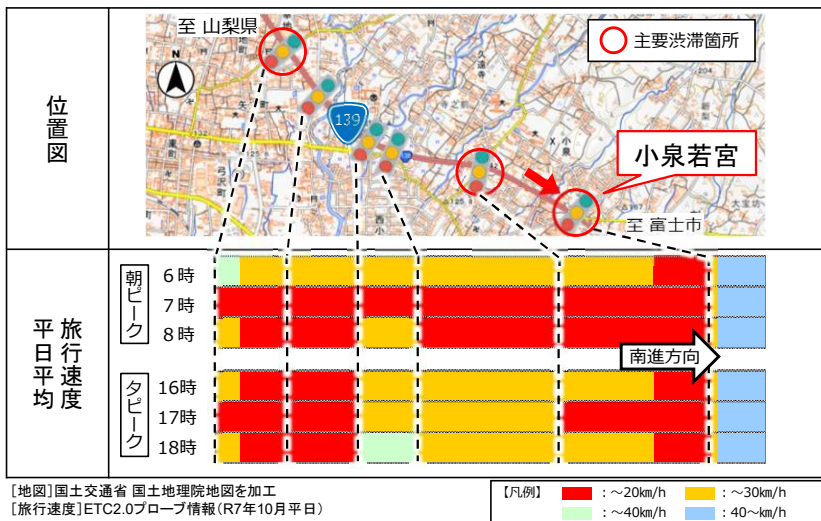
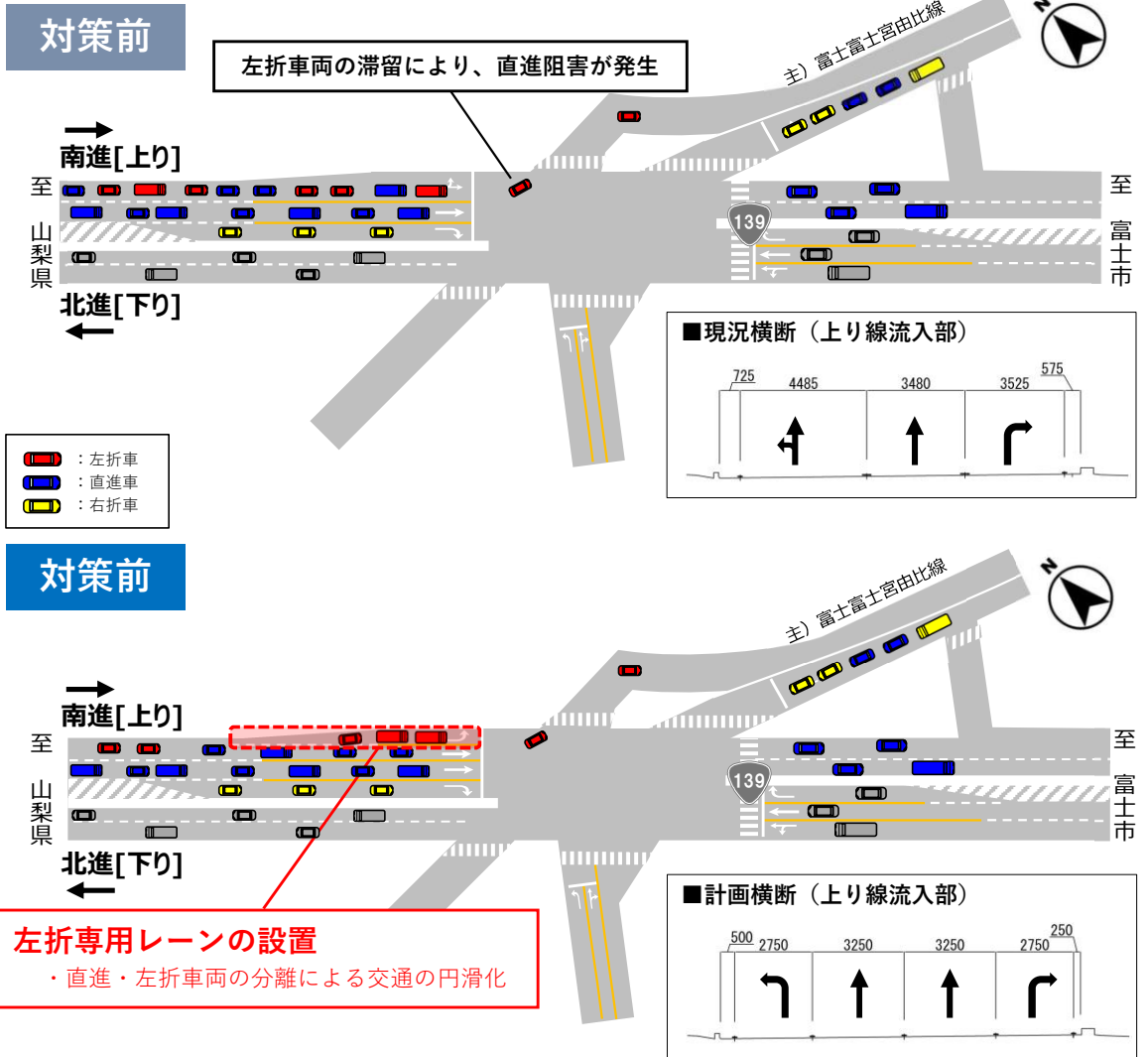
## ○国道139号 小泉若宮交差点渋滞対策

- 国道139号小泉若宮交差点では、南進の車線が左直/直進/右折となっており、直左車線に左折車両が混在することにより旅行速度が低下。左折専用レーンの新設により左折車と直進車の混在を解消する局所対策を実施
- 令和7年度は道路設計、関係機関協議を実施。令和8年度は交差点改良工事に着手。

### ■位置図・現況



### ■対策内容



# 5 観光渋滞対策

## ○国道139号 朝霧高原エリア 観光渋滞対策

- 富士宮市北部には観光地が集積しており、観光期には来訪者が集中し、国道139号では旅行速度低下が発生。
- 令和7年度は、交通混雑緩和のためAIカメラおよび道路情報板を活用した情報提供による経路分散施策を実施。
- 令和8年度は、上記に加え、地域と協働して看板・横断幕等を活用した情報提供による経路分散施策を実施。

### ■ 実施概要

《対策内容》

- ・AIカメラによるリアルタイムの混雑状況の把握
- ・道路情報板において混雑時に迂回案内を配信
- ・チラシ配布・SNSの事前情報発信による迂回依頼

《AIカメラによる交通状況の把握》

○走行車両の検知  
○走行速度の計測

↓ 混雑時

混雑情報と迂回案内をお知らせ

### ■ 令和7年度 取り組みによる効果

- 利用経路割合は、前年度と比較して迂回ルート(県道)の利用率が最大約5%増加。
- 所要時間は、前年度と比較して迂回案内を実施した時間帯は減少する傾向がみられたものの、R7GWのピーク時には最大所要時間が91分となっており、依然として大きな所要時間が発生。

《所要時間》  
国道139号(北山IC→猪之頭入口間)

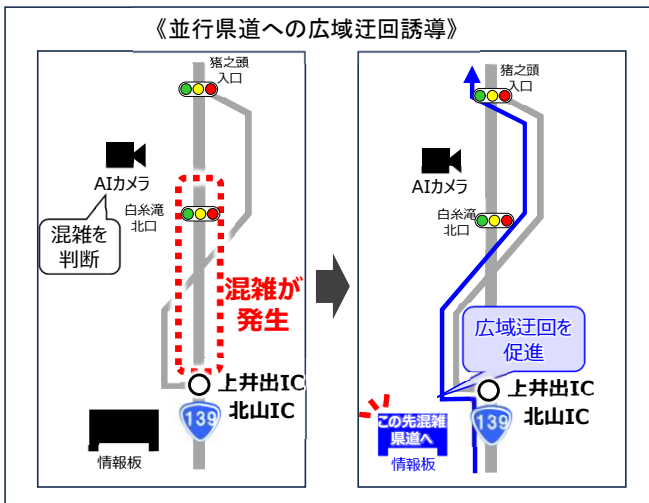
《利用経路割合》  
北山IC→猪之頭入口間の通過交通

経路	R6 GW	R7 GW
国道139号	96%	91%
迂回ルート	4%	9%

迂回ルート利用 5%増加

撮影日：R7.5.5/月祝/12時台

### ■ 対策方針



### ■ 令和8年度 取組内容

《道路情報板による情報提供》 R7～継続実施

※富士宮市・富士市内の国道139号3箇所、富士市内の国道1号3箇所にて実施予定

《横断幕の設置》 R8新規実施

139 朝霧高原エリア GW期間中の混雑時は県道へ迂回

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 岳南エリアWG

《看板の設置》 R8新規実施

139 迂回ルート  
山梨方面  
交差点右折

139 迂回ルート  
山梨方面  
北山ICから県道へ

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 岳南エリアWG

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○新広域道路交通計画・管内調査箇所

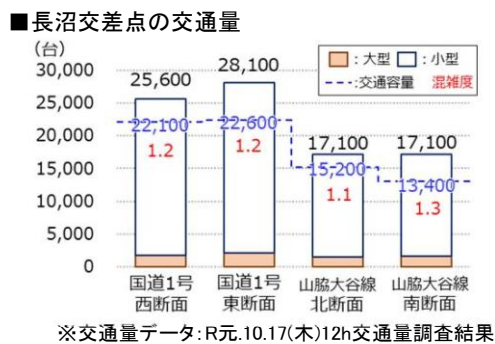
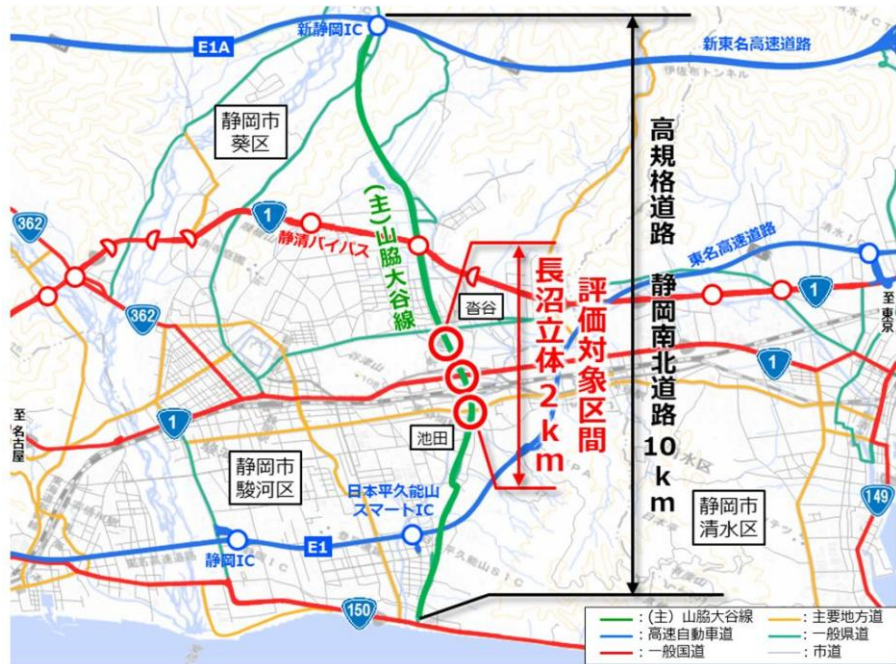
○中部ブロックの将来像の実現に向けて、広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、ICT交通マネジメントの3つの観点から、令和3年3月に新広域道路交通計画(中部ブロック版)を策定。令和8年4月1日にネットワーク図を更新。



# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○静岡南北道路 長沼立体

- 国道1号と(主)山脇大谷線が交わる長沼交差点では、交通集中および交通容量不足により慢性的な渋滞が発生している状況。令和3年8月の静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、静岡鉄道と長沼交差点を跨ぐ(主)山脇大谷線の立体化事業とJRを跨ぐ長沼大橋の架替事業の一体的な実施を、行政機関での機能強化案として確認。
- 令和4年度より計画段階評価に着手し、令和5年2月には第1回中部地方小委員会を開催、令和5年度以降は、第1回意見聴取および概略ルート・構造の検討を実施。
- 令和8年度以降も、引き続き国・静岡市が連携し、計画段階評価を進めていく。



※写真撮影日: R3.11.11(木)16時台

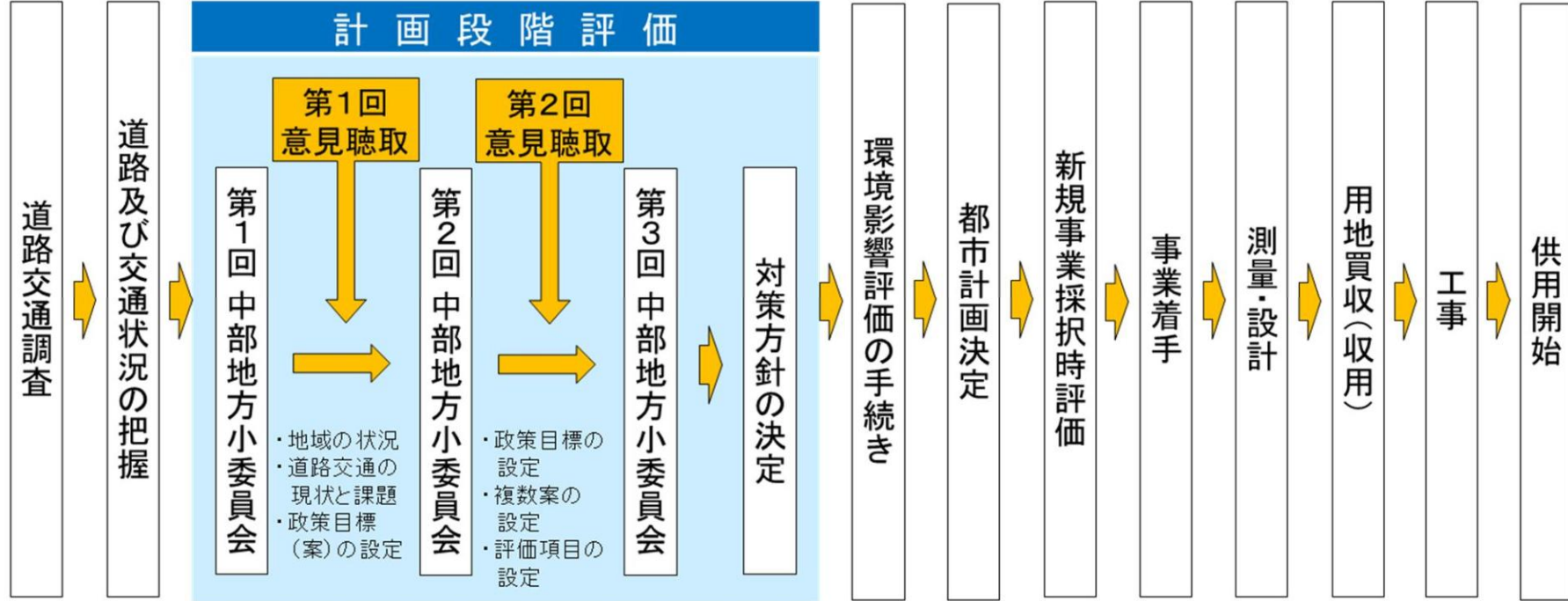


※写真撮影日: R4.8.26(金)18時台

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○静岡南北道路 長沼立体

### ■計画段階評価の進め方



### ■長沼交差点周辺における交通課題と政策目標(案)

	課題	原因
渋滞 (都市圏)	○静岡県内ワースト上位の渋滞	○交通容量の不足 ○踏切による交通阻害
物流・企業	○物流ネットワークの速達性が低い	○交通容量の不足 ○信号交差点の連坦
安全	○幹線道路・生活道路で多発する交通事故	○交通の集中 ○生活道路への流入
防災	○災害時におけるネットワークの信頼性が低い	○橋梁の老朽化・不安定な構造 ○代替路の不足

#### 政策目標(案)

渋滞緩和による  
地域交通の円滑化

速達性向上による  
産業活性化支援

交通安全の確保

信頼性の高い  
ネットワークの確保

### ■第1回意見聴取



郵送アンケート

オープンハウス



インタビュー調査



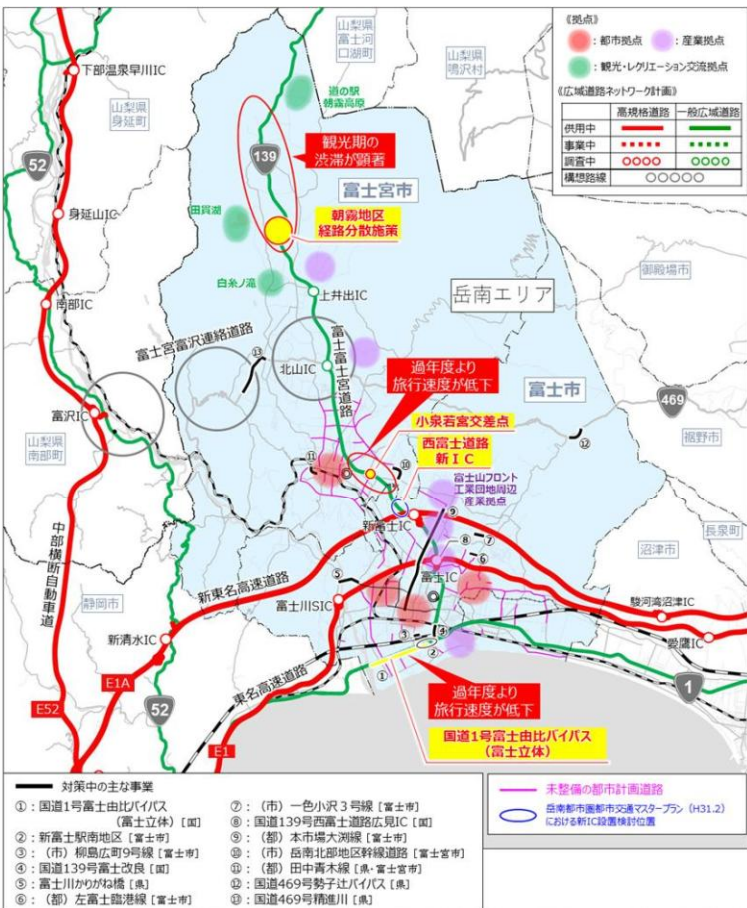
高校生ヒアリング

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○岳南エリアの交通機能強化

- <sup>がくなん</sup>岳南エリアは、交通・産業・観光面など地域間の結びつきが強い中、各市街地の中心部や主要幹線道路で渋滞が発生しており、主要渋滞箇所における渋滞対策の実施・検討が進められてきたものの、渋滞が残る状況
- 令和7年に開催された第2回岳南エリアWGでは、岳南エリアの現状および道路計画や地域の開発計画の共有、将来の道路の使われ方、想定される課題、今後の進め方について議論
- 令和8年度以降は、岳南エリアWGにて交通課題等を整理・分析し、必要となる機能について議論を進める

### ■岳南エリアの産業拠点等や道路交通計画の概況



### ■岳南エリアの主要渋滞箇所



### ■第2回岳南エリアWG

- 開催日：令和7年1月24日(金) 15時～17時
- 場所：富士宮市役所
- 議題：
  - ・岳南エリアの現状(道路の使われ方、交通課題等)および国道1号富士由比バイパスの道路構造変更検討
  - ・渋滞対策の検討および岳南地域の開発計画や道路計画の共有
  - ・今後の進め方について

#### 【構成機関】



#### 【議事要旨】

- 岳南エリアの将来道路ネットワークのあり方の検討に向けて、道路の使われ方や現状の交通課題を把握し、関係者間で将来の道路の使われ方や想定される議題を議論。
- さらに、地域が抱える喫緊の交通課題に対しても、ハード・ソフトを含めた渋滞対策の方向性について、関係者間で共有。



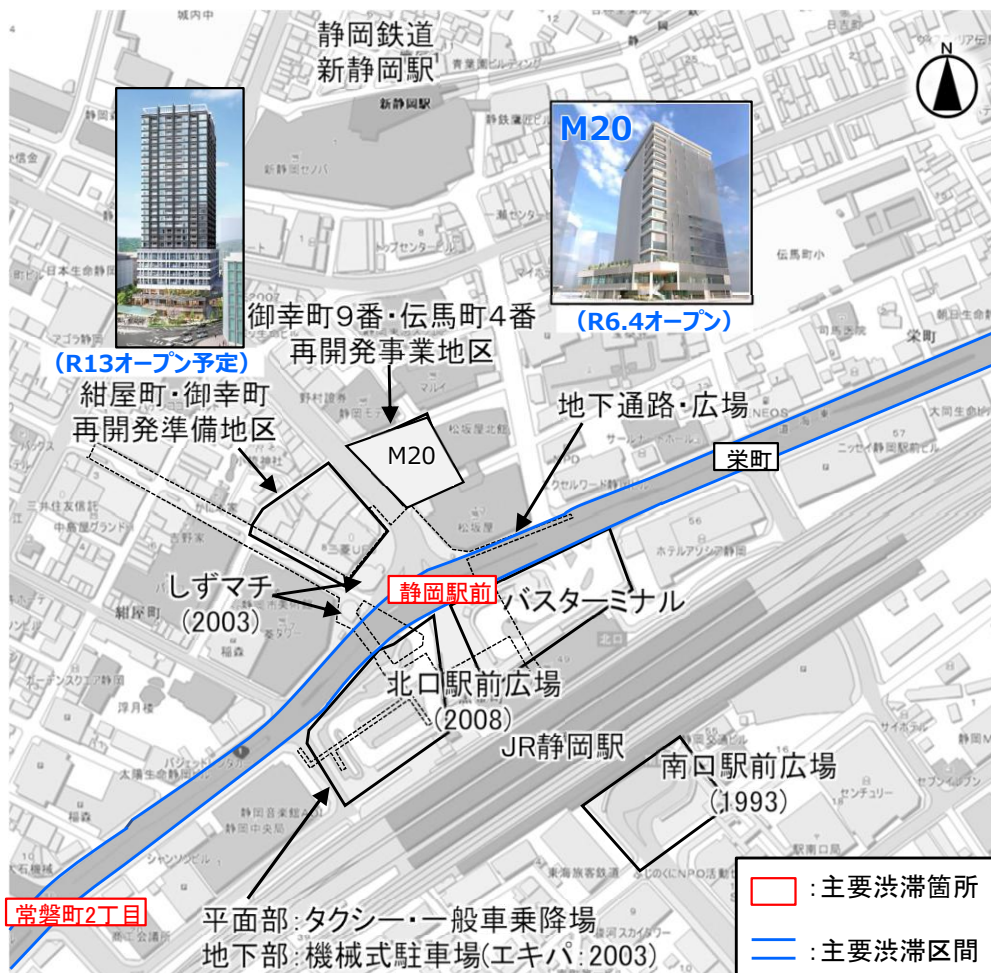
出典：【NW】R5.4.1時点中部ブロック広域道路ネットワーク計画図(国土省HP)【拠点等】第三次富士市都市計画(29-ア)変更(R5.7)、富士宮市都市計画(29-ア)【R2.3】(都市計画道路)富士宮市都市計画道路整備プログラム(R2.4)、岳南広域都市道路計画の変更について(富士市)【R4.10】

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○静岡駅周辺

- 静岡市の中心市街地であり、鉄道、バス、タクシーや自転車などの様々な交通モードが集中する静岡駅周辺において、交通結節点として駅前空間のあり方を検討する時期を迎えていることを踏まえつつ、交通拠点としての機能強化・再編の必要性等の検討を進めている
- 令和8年度は静岡市が策定予定の「静岡都心地区まちなか再生指針」等を踏まえ、静岡駅北口周辺エリアのにぎわい創出ならびに交通結節点機能強化を目指し、現況課題を関係者が共有し、官民共創により北口駅前広場周辺の再編基本方針等について協議を行う。

### ■静岡駅周辺の施設等整備状況



### ■周辺事業者ヒアリング等からの課題

1. 交通拠点としての機能不足
  - MaaS車両の受入空間がない
  - 路線バスの乗降場が点在
  - 高速バス、観光バスの受入空間が不足
  - 交通ターミナルとしての待合空間がない
  - 自転車施策の展開空間がない
2. 静岡駅北口の賑わい不足
  - 歩行者が地下道を利用するため、賑わいが不足
  - 民間の再開発への対応が必要
3. 施設の老朽化等
  - 機械式駐車場の劣化や地下水の漏水など、施設が老朽化
  - 地下通路上や地下通路と接続する店舗入口に段差が存在

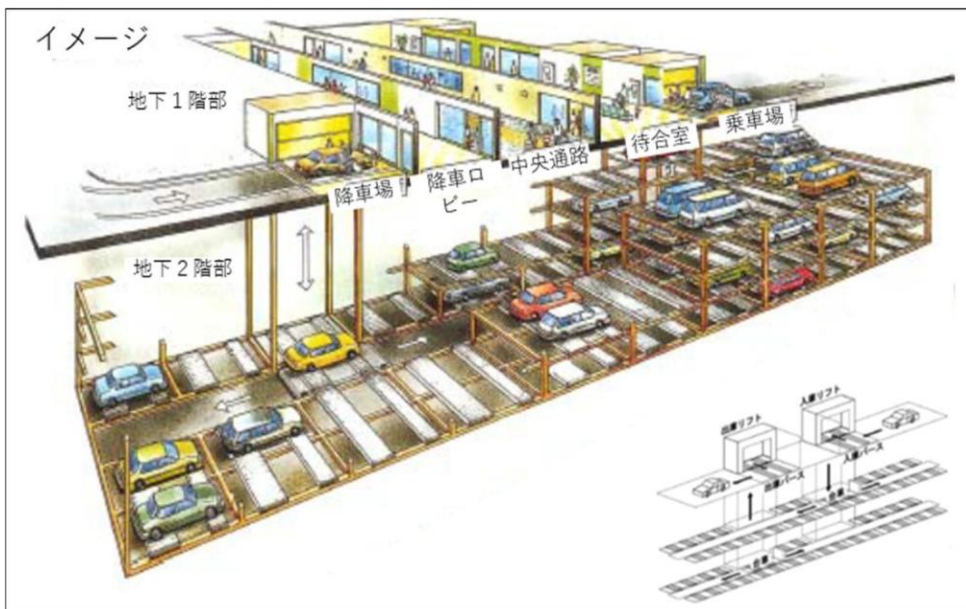


## 6 管内の将来的なネットワーク機能強化

### ○静岡駅前地下駐車場(エキパ)

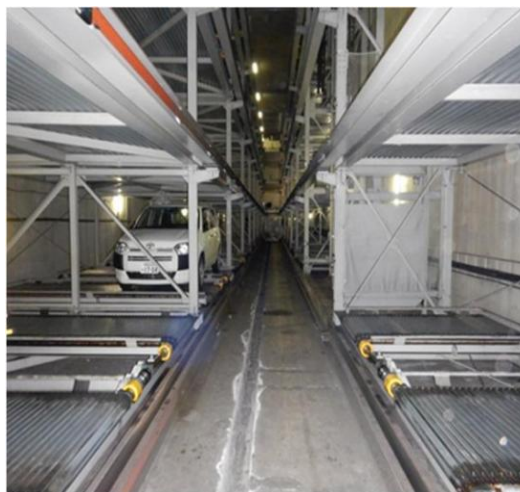
○静岡駅前地下駐車場は、JR静岡駅周辺の慢性的な駐車場不足の解消、道路交通の円滑化等を図ることを目的として、静岡市と共同で静岡駅北口地下駐車場と一体的に整備し、「エキパ」として平成15年10月から運用。

○令和8年度は、短時間豪雨による浸水被害を防ぐため、止水機能の強化、危機対応の体制の見直しを進める。



#### 【概要】

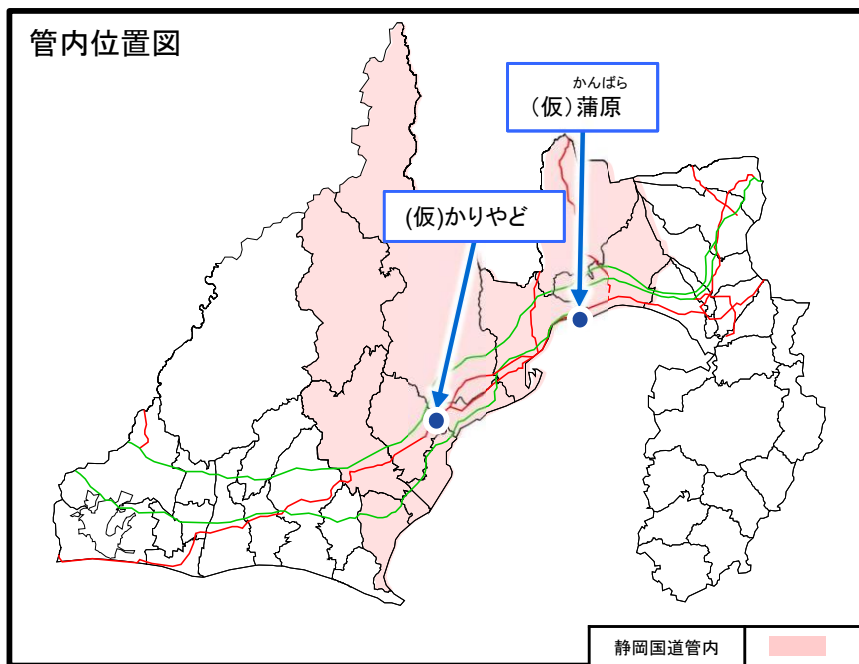
駐車型式	機械式駐車場
駐車台数	400台 (内訳) 静岡市：A・Bバス (200台) 静岡国道事務所：C・Dバス (200台)
駐車可能サイズ	車長 5.3m 車幅 1.9m 車高 2.0m 以下
構造	鉄筋コンクリート造 地上1階、地下1階、地下2階 (4層)
建築床面積	(延) 約10,000m <sup>2</sup>



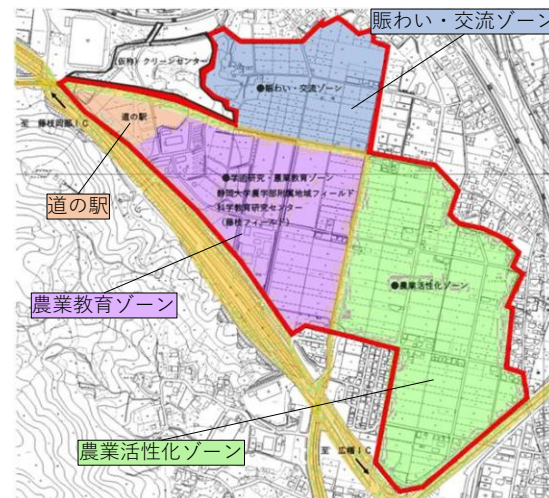


# 7 事業中・計画中・構想中の「道の駅」等

- 「(仮称)蒲原」については、直轄一体型として、令和8年度新規事業化
- 「(仮称)かりやど」については、地域活性化の拠点として「道の駅」の検討が藤枝市にて進められている
- 国として「道の駅」の登録申請に向けた支援を実施するとともに、地域拠点と連携した防災・休憩機能強化を検討

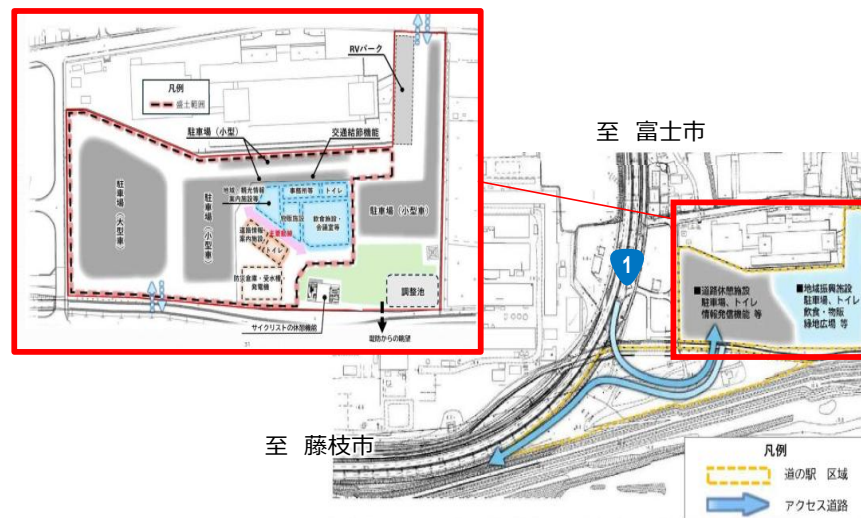


## 道の駅「(仮)かりやど」



出典：道の駅 (仮) かりやど基本構想

## 道の駅「(仮)蒲原」 令和8年度新規事業化



出典：道の駅 (仮) 蒲原基本計画

駅名	設置者	状況	備考
(仮)かりやど	藤枝市	計画中	令和5年3月基本構想策定
(仮)蒲原	静岡市	事業中 ※R8年度新規事業化	令和7年10月基本構想策定 令和8年3月基本計画策定

# 7 「道の駅」の機能強化

## ○道の駅「宇津ノ谷峠」

○道の駅「宇津ノ谷峠」は、道路利用者等の一時避難地（静岡市）および緊急避難場所（藤枝市）としての防災機能強化や休憩機能強化を目的に、防災施設の整備や画像解析カメラ・予約制駐車場を運用中

○令和8年度は、防災施設を活用した訓練やBCP更新等により災害時の実行性向上を図る

### ■道の駅「宇津ノ谷峠」



### ■防災施設の整備



### ■防災施設を活用した防災訓練

- 日 時: 令和8年2月26日(木) 10:00~11:30  
2月27日(金) 14:00~16:00
- 場 所: 道の駅「宇津ノ谷峠（静岡市側・藤枝市側）」
- 参 加: 静岡国道事務所、静岡市、藤枝市  
(株)天神屋、(有)ホームタウンよこぞえ



ベンチタイプトイレ設置訓練



衛星携帯電話操作訓練

### ■道路協力団体との連携による長時間駐車対策

道路協力団体の第2号業務として、休憩機能及び「道の駅」周辺地域の散策のための長時間駐車可能スペースを提供。

※道路協力団体が設置



# 7 「道の駅」の機能強化

## ○道の駅「朝霧高原」

- 道の駅「朝霧高原」は令和3年に防災道の駅に指定され、南海トラフ巨大地震発生時の広域応援部隊の進出、広域物資輸送拠点(代替施設)として防災機能の強化において、地元自治体等と連携を行っている
- 画像解析カメラを設置しており、駐車場の有効活用のための情報の利活用、提供方法について検討
- 令和7年度に災害時に緊急トイレとして、迅速に移動及び設置が可能なコンテナトイレを設置
- 令和8年度は給水施設及び非常用自家発電施設の強化の工事に着手

### ■防災訓練



写真:R5.11撮影



写真:R7.2月撮影

(現地対策本部車を展開しての運用訓練)

### ■防災コンテナ型トイレ

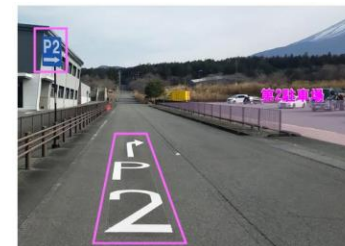


(上下水道に接続せず水洗利用が可能)



### ■案内誘導看板等の追加設置

令和7年度に、第2駐車場の利用促進を目的とした案内誘導看板および路面標示を設置。第1・第2駐車場の利用平準化について、引き続きサイネージ等を活用した対策の検討を行う



### 画像解析カメラ



# 8 道路管理

## ○道路管理車両

○日常の道路管理、冬期の道路管理や災害対応時の車両を保有・運用

- ・道路巡回車両（パトロールカー）・排水管清掃車・路面清掃車・散水車・凍結防止剤散布車プラウ付
- ・除雪グレーダー・対策本部車・照明車・衛星通信車



静岡国道事務所が保有する  
道路管理車両



## 8 道路管理

### ○道路情報センター

○道路巡回からの情報に加え、道路監視用カメラ等で24時間365日、常に道路情報を収集し、道路情報板等により速やかな情報発信をすることで、的確な道路管理を実現

○AI技術を活用した画像解析技術を用いた交通障害検知システムの導入を推進

#### 道路情報センターの主な設備

道路監視モニター

(県警本部、静岡市との相互提供)

カメラ制御端末

交通量観測装置端末

道路情報板制御端末 等

#### 道路情報センターの主な業務

○情報収集

道路巡回

道路監視用(CCTV)カメラ(258基)

雨量計(4箇所)、凍結検知装置(2箇所)

関係機関や道路緊急ダイヤル等からの情報提供 等

○情報提供・発信

道路情報板(41基)、津波情報板(7基)

ラジオ再放送設備(9箇所)

公式X(旧Twitter)(@milt\_shizukoku)

道路情報提供システム(<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/>)

道路交通情報センターへの情報提供 等



#### 道路AI検知システムの検出事例



停止車両による滞留発生を検出状況  
(国道1号藤枝バイパス原トンネル)

# 8 道路管理

## ○道路構造物のメンテナンス

- 道路利用者の安全・安心な交通確保のため、道路構造物の点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを適切に回すことが重要
- 道路構造物の点検は、5年に1度の頻度で実施し、令和6年度より3巡目の点検を開始
- 新技術の活用により点検の高度化・効率化を推進
- 過去2巡の点検結果より、損傷の傾向や特徴から効率的・効果的な措置を実施し、予防保全への転換を推進

### ■定期点検の実施項目

橋梁点検



橋梁点検車による点検

トンネル点検



新技術(走行型計測車両)による点検

特定道路土工点検



構造物点検



### ■補修の主な内容



支承補修



断面補修



当て板補修



予防保全として止水対策を合わせて実施



伸縮装置補修



# 8 道路管理

## ○塩害への対応

○静岡国道事務所管内は、富士由比バイパスの海岸沿岸部において複数の橋梁が位置しており、海からの飛来塩分によりコンクリート桁に剥離・鉄筋露出やうきが繰り返し発生

- ・令和7年度までに「由比川橋」を対象に載荷試験及びPC鋼材の非破壊検査を実施して耐荷性能を確認  
検証結果を踏まえて塩害橋梁の対策優先度及び維持管理計画を策定
- ・令和8年度は塩害橋梁の維持管理計画に基づいた管理を継続実施



塩害橋梁の位置図

【由比川橋】主桁の剥離・鉄筋露出



【由比川橋】主桁のうき



【載荷試験】実施状況



【PC鋼材非破壊検査】実施状況

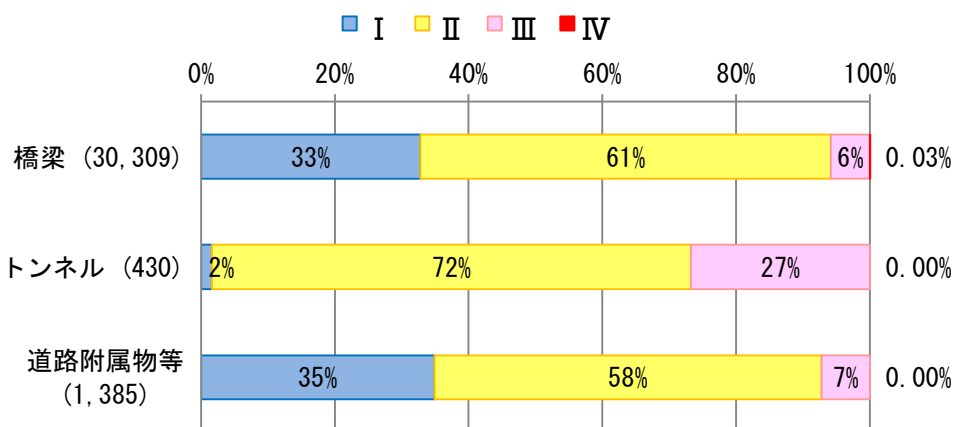


# 8 道路管理

## ○道路メンテナンスの推進

- 静岡県内においては、各道路管理者が管理する橋梁のうち、建設後50年を経過する橋梁は約5割。高度経済成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は約8割となる見込み
- 1巡目点検の結果、県内市町では次回点検まで(5年以内)に修繕等の措置を講ずべき橋梁の14%が未着手。令和8年度は集約化撤去に関する支援策を検討し、道路メンテナンス会議での自治体支援を推進
- 自治体への技術支援として静岡県道路メンテナンス会議にて点検ミニ講習会等を実施

2巡目点検（2019～2023年度）の判定区分割合（県内の全道路管理者）

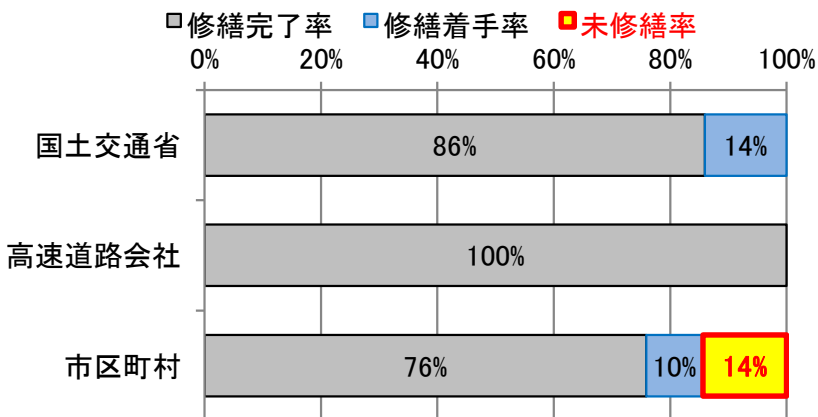


※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設の合計  
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある

## ■道路メンテナンス会議における技術的サポートの内容

- 道路管理者の技術力向上のため点検ミニ講習会、自治体のニーズに合った新技術講習会の開催
- 自治体同士での意見交換や新技術活用事例等の共有のため、実務担当者会議の開催
- 道路施設の現状と定期的な点検・修繕の必要性について住民の理解を促進するイベント展示
- 応募が少ない土木系学生採用に向けた採用情報の発信

1巡目点検（2014～2018年度）の修繕実施率（県内の橋梁）



写真：R7.11撮影

イベントへ展示



写真：R7.10撮影

点検ミニ講習会の開催

# 8 道路管理

## ○特殊車両

- 即時に通行可能経路の検索結果を確認することができる特殊車両通行確認制度の利用促進。
- 特殊車両の過積載での通行は、橋梁などの道路施設に損傷を及ぼし、また交通の安全に支障を及ぼすため、「現地取締基地での取締り」と「自動計測装置による取締り」の実施により、特殊車両の通行適正化を推進。

### ■特殊車両通行確認制度

○通行経路の確認・手数料の支払いまで、24時間・オンラインで利用可能です。



### ■現地取締基地での取締り

○道路に設置した現地取締基地では、重量・寸法・高さの計測、及び許可証の確認等を実施し、違反車両に、「指導警告書」又は「措置命令書」を発出し、是正を求めます。

#### ■取締りの様子



#### ■X(旧Twitter)での広報



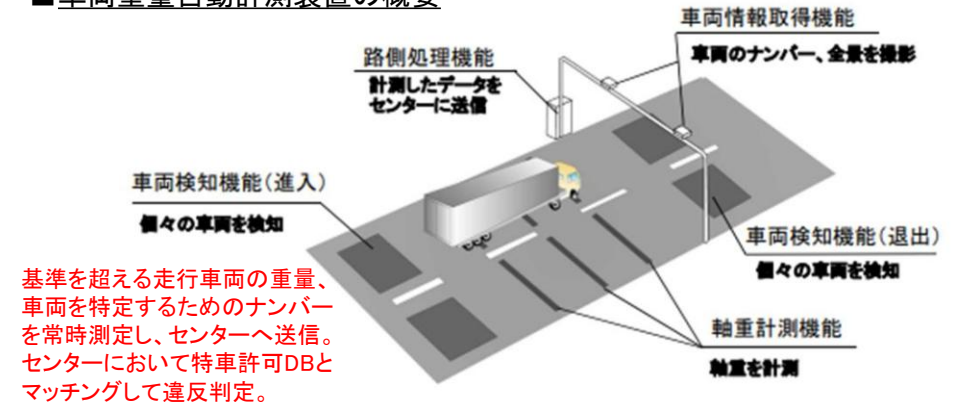
### ■自動計測装置による取締り

○ 車両重量自動計測装置で計測したデータと特殊車両通行許可書データをオンラインで照合し、その計測結果に基づき、走行違反を繰り返す事業者に対しては、「指導警告書」を発出し、また対面により「是正指導書」を交付し、是正を求めます。

#### ■車両重量自動計測装置の設置



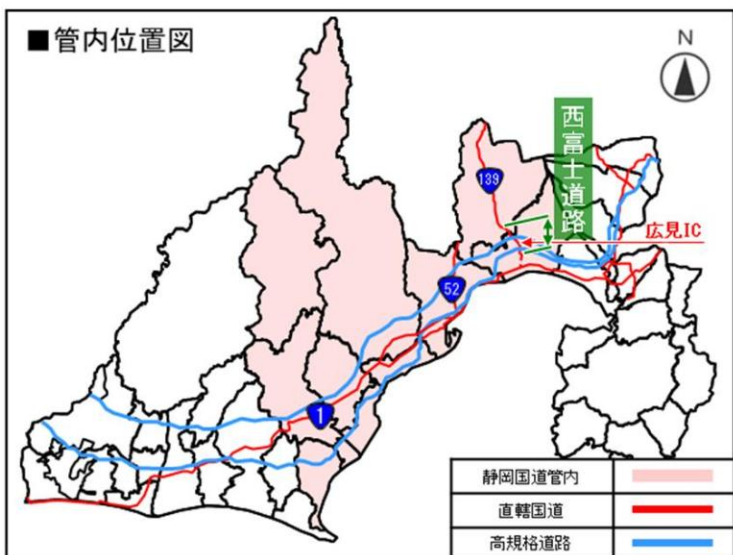
#### ■車両重量自動計測装置の概要



# 8 道路管理

## ○静岡国道管内舗装修繕

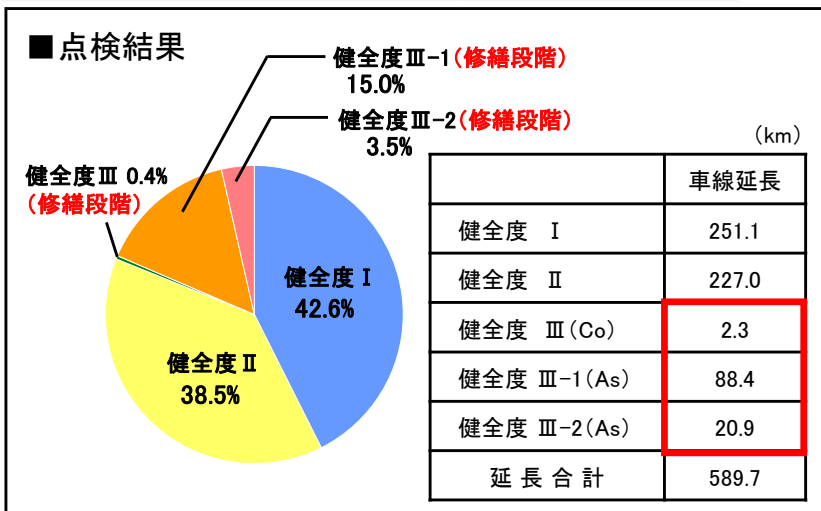
- 道路利用者の安全・安心な交通確保のため、舗装点検要領に基づくメンテナンスサイクルの実施が重要
- 静岡国道の管理延長約590km(上下線、車線別延長)に対し、約112km(約20%)が修繕段階と判定
- 平成24年4月の無料化、新東名の開通以降、交通量が大幅に増加し舗装の劣化が進行している西富士道路においては、昼夜連続規制による集中工事を実施し、作業日数の短縮、コストの削減を推進



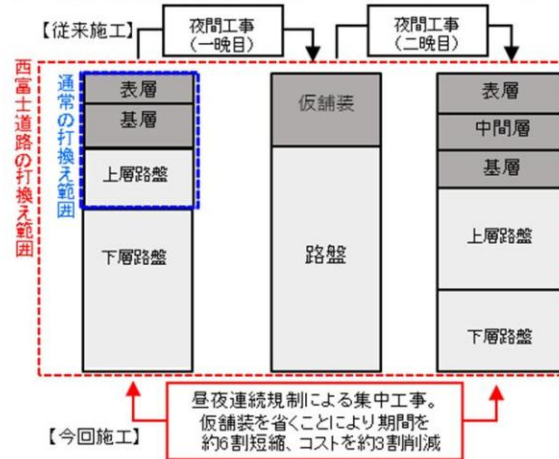
### ■国道139号西富士道路舗装修繕



### ●舗装工事施工前(応急維持済み)



### 【昼夜連続規制による集中工事のイメージ】



### ●舗装工事施工後



# 8 道路管理

## ○管内の各規制区間等

○静岡国道事務所管内には、事前通行規制区間(雨量規制区間)・越波・強風による規制区間・降雪時、予防的に通行止めする区間のほか、南海トラフ地震・富士山噴火・浜岡原子力発電所圏域において通行規制を実施する可能性がある。

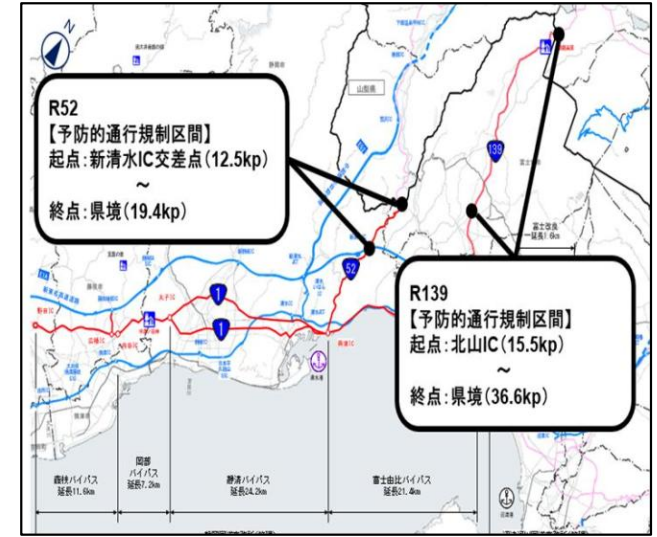
### ■事前通行規制区間(雨量規制区間)



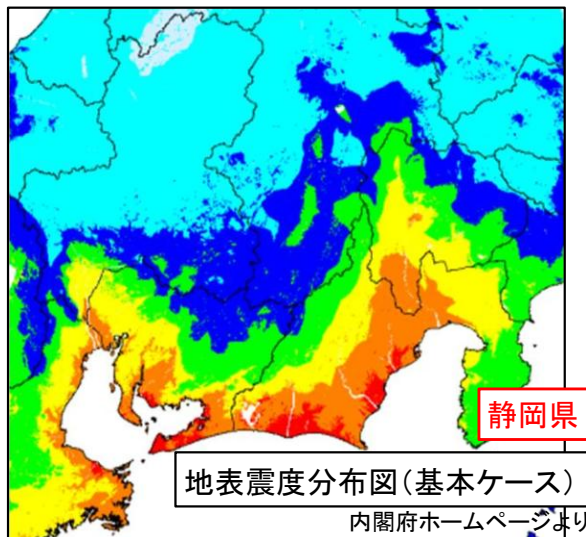
### ■越波・強風による規制区間



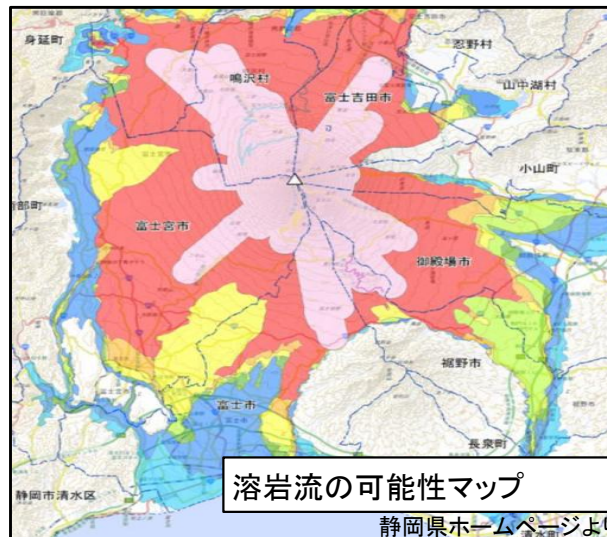
### ■降雪時、予防的に通行止めする区間



### ■南海トラフ地震



### ■富士山噴火



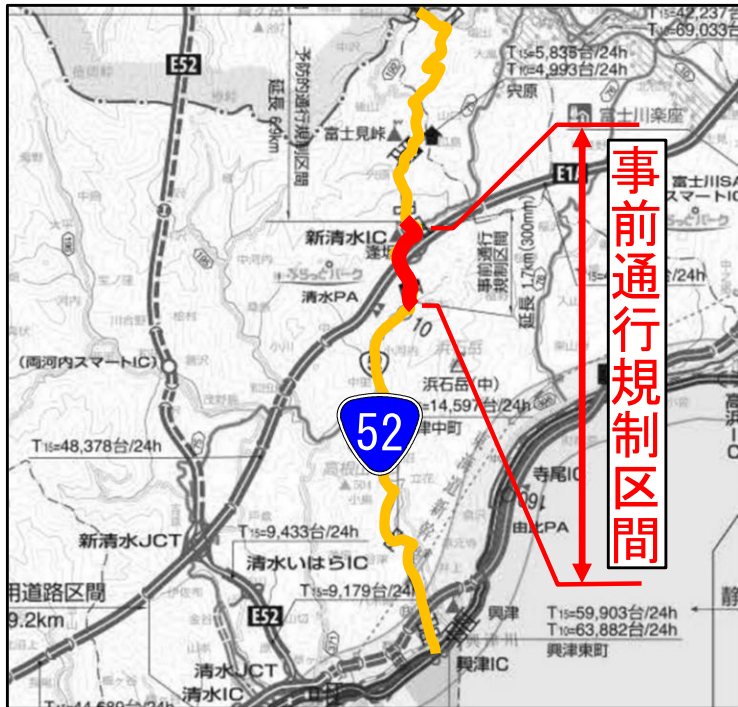
### ■浜岡原子力発電所圏域



# 9 災害への備え

## ○事前通行規制区間(雨量規制区間)における対策

○国道52号で大雨・台風時に土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、事前通行規制区間(雨量規制区間)を定め、基準雨量(400mm)に達する場合は通行止めとし、道路利用者の安全を確保。



### ■近年の通行止め実績

年 月 日	雨 量	通行止め時間
令和元年 10月 12日	345mm	6時間20分
令和3年 7月 3日	500mm	11時間30分
令和4年 9月 24日	407mm	17時間5分
※ 令和5年 6月 2日	408mm	6時間35分

### ■事前通行規制区間

国道52号

延長: 1.7km

静岡市清水区小河内字坂本～静岡市清水区穴原

※法面防災工事等の実施により、令和5年4月に基準雨量をそれまでの300mmから400mmへ緩和

基準雨量: 400mm



平成26年台風18号による被災箇所の復旧  
(平成28年3月完了)



通行止め訓練

# 9 災害への備え

## ○越波・強風・津波への対応

- 国道1号富士由比バイパス及び静清バイパスの駿河湾に面している区間では、台風等に伴う越波や飛散物、強風による車両横転の危険から道路利用者を守るため、通行規制を実施。
- 平成30年9月の台風24号接近時には、強風及び越波への対応として新富士川橋～清見寺IC間を、上り3時間半、下り8時間に及ぶ通行止めを実施。
- 令和7年度静岡県地域防災計画 津波警報発令時の浸水区域見直しを受け、通行規制実施区域を変更。

### ■越波・強風による規制区間



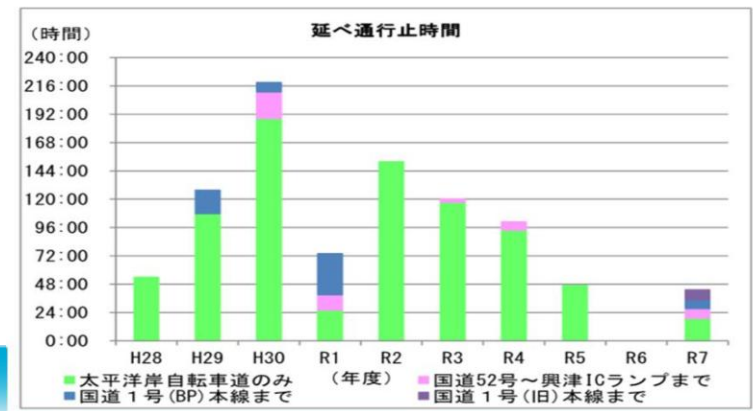
### ■津波による規制区間(大津波警報時)



### ■越波による被害事例



### ■越波・津波等による通行止め時間



# 9 災害への備え

## ○越波に備えた取り組み

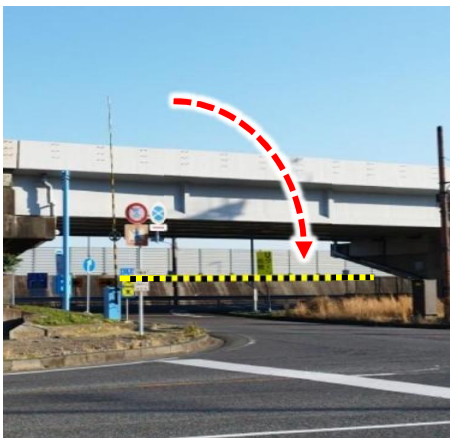
○防災・減災、国土強靱化の取り組みの中で、越波が想定される区間(由比・興津地区)約3.1kmにおいて、越波に伴う飛散物の打ち上げ防止する越波飛散防止柵を整備した。これにより、通行規制時間が短縮されている。

○迅速な通行規制の実施及び省人化のため、遠隔操作可能な遮断機を整備中(令和6年3月に興津IC、清見寺ICに設置完了、令和8年度に蒲原西ICに設置完了予定)。

### ■越波対策の整備状況



通常時



通行規制時

# 9 災害への備え

## ○雪氷への対応

- 積雪による交通障害や交通事故を未然に防ぐため、雪氷予測の取得や、積雪深計の設置により降雪見通しを確認し、適切なタイミングで凍結防止剤の散布、通行車両のタイヤチェック、除雪作業等を実施。
- 大雪時の道路交通確保対策について、これまでの「出来るだけ止めない」方針から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」へと転換。大雪が見込まれる場合は、道路を早めに通行止めして集中的な除雪作業を実施することで、通行止め時間の短縮による社会的影響を最小化。
- インバウンドへの対応として3か国語でのチラシを作成し、レンタカー会社へ訪日外国人への配布を依頼。
- 道路管理者(国・県・政令市・NEXCO)・交通管理者・気象台・防災機関で構成する「山梨静岡県境地域道路災害対策連絡協議会(通称やましず)」で連携し、情報共有及び共同記者発表、X(旧Twitter)で情報発信を実施。

### ■雪氷対応の流れ



①凍結防止剤散布



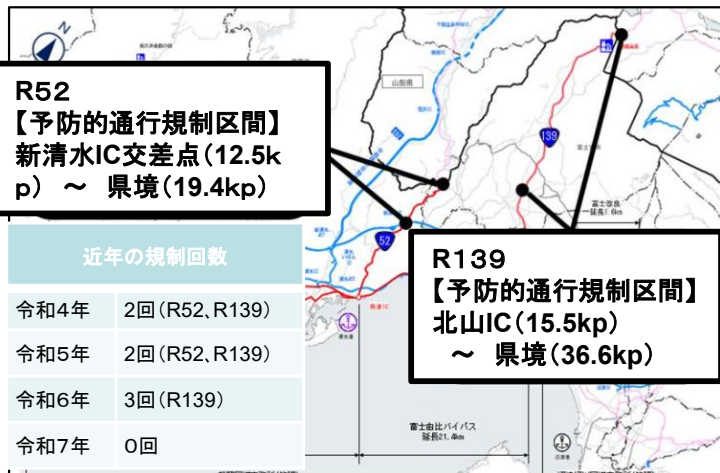
②除雪



③タイヤチェック



④通行止め



【降雪時に予防的に通行止を行う区間】

凍結・降雪時など  
**タイヤチェック**または**通行止め**  
を行う場合があります。

冬季には凍結や降雪により路面が滑りやすくなります。  
**冬用タイヤ等の装着**をお願いいたします。

国土交通省 山梨国道事務所  
お問い合わせ: 054-250-8908  
#9910

【インバウンド対応チラシ】

From the Shizuoka National Highway Office, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
To everyone traveling on Routes 52 and 139 in Shizuoka Prefecture

During freezing or snowfall,  
**Tire checks and Road closures**  
may be implemented.

In winter, the road surfaces can be slippery due to ice and snowfall.  
**Please install winter Tires.**

Shizuoka National Highway Office  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



【積雪深計】

# 9 災害への備え

## ○南海トラフ巨大地震に対する備え

○道路法改正を受け、南海トラフ地震を想定した法定計画である「中部道路啓開計画(地震・津波編)」を策定した。  
(令和8年3月19日策定)

○令和8年度に「静岡県道路啓開計画協議会(仮称)」の設立を目指し、今後、南海トラフ地震以外の地震や火山、雪害など複合災害に係る道路啓開についても検討予定

### 72時間以内に救急・救助活動をおこなうための計画を策定



### 中部道路啓開計画【地震・津波編】の概要

令和6年1月の能登半島地震において、人命救助やライフラインの早期復旧、孤立集落への交通確保のための道路啓開の重要性が再認識された。令和7年に道路法等が改正され、道路啓開計画が法定化されたことを受け、「中部道路啓開計画」を策定した。

- ・対象災害  
震度6弱から震度7が想定されてる「南海トラフ地震」クラスの地震
- ・道路啓開の目的、優先的に道路啓開を実施する路線・区間  
沿岸部の被災地内のルートを発災から概ね72時間内に啓開
- ・資機材の備蓄・調達  
長野県・岐阜県を含めた中部ブロック全体で、資機材を融通して対応
- ・実践的な訓練  
→道路管理者、警察、消防、自衛隊、建設関連団体、ライフライン等との訓練
- ・情報収集・伝達  
→道路被災や孤立集落等の情報を関係機関で迅速に収集伝達体制を構築
- ・計画の見直し

### 令和7年10月10日 道路啓開訓練(初動対応訓練)



道路啓開訓練(初動対応訓練)に参加し、迅速な情報収集・情報伝達の検証を実施。現場巡回の災害協業者と情報共有を実施。

### 令和7年10月19日 静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練



静岡県の総合防災訓練に参加し、道路啓開(橋梁段差補修・電柱撤去・放置車両撤去)を実施。災害発生時の連絡手順の確認を実施。

# 9 災害への備え

## ○ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施。
- 令和7年6月に「災害対策基本法」等の改正を受け、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の増強と行政機関・民間企業・学識者などの専門性を持った多様な主体とのさらなる連携強化により、被災自治体への新たな応援体制を構築。

### ■連携強化による枠組み



- 《TEC-FORCE予備隊員》  
専門的な知識を有する民間企業等の人材をTEC-FORCE隊員として非常勤雇用する制度の創設により、人員体制を強化。
- 《TEC-FORCEパートナー》  
民間企業等との災害協定の拡充により、広域的な被災自治体応援においてもTEC-FORCEと一体的に活動できる体制を確保。
- 《TEC-FORCEアドバイザー》  
学識者の方々から災害対応の技術的助言を得る枠組みの創設により、技術的判断が難しい事案に対応する体制を確保。
- 《都道府県等との連携》  
平時から、都道府県等の危機管理部局や土木部局等との合同研修等による連携を強化することにより、被災地における一体的な活動を促進。

### ■新ロゴマーク (令和8年1月刷新)



国土交通省  
**TEC-FORCE**  
Technical Emergency Control FORCE

### ■活動写真



### 至近5年の活動実績

	災害名	派遣期間	静国派遣人数(実数)
1	令和3年1月豪雪災害(富山県)	令和3年1月10日～11日	2名(1名)
2	令和3年7月熱海市伊豆山地区土砂災害(静岡県)	令和3年7月11～14日	4名(1名)
3	令和4年台風15号災害(静岡県)	令和4年9月24日～12月28日	413名(38名)
4	令和6年能登半島地震(石川県)	令和6年1月8日～2月2日	101名(18名)
5	令和6年7月豪雨災害(秋田県)	令和6年8月5日～12日	32名(4名)

# 9 災害への備え

## ○防災点検・対策の推進

○豪雨・地震等による災害を防止するため、道路法面の安定性等について詳細な点検を実施

○点検の結果、対策が必要な箇所については、危険度に応じ必要な工事を実施

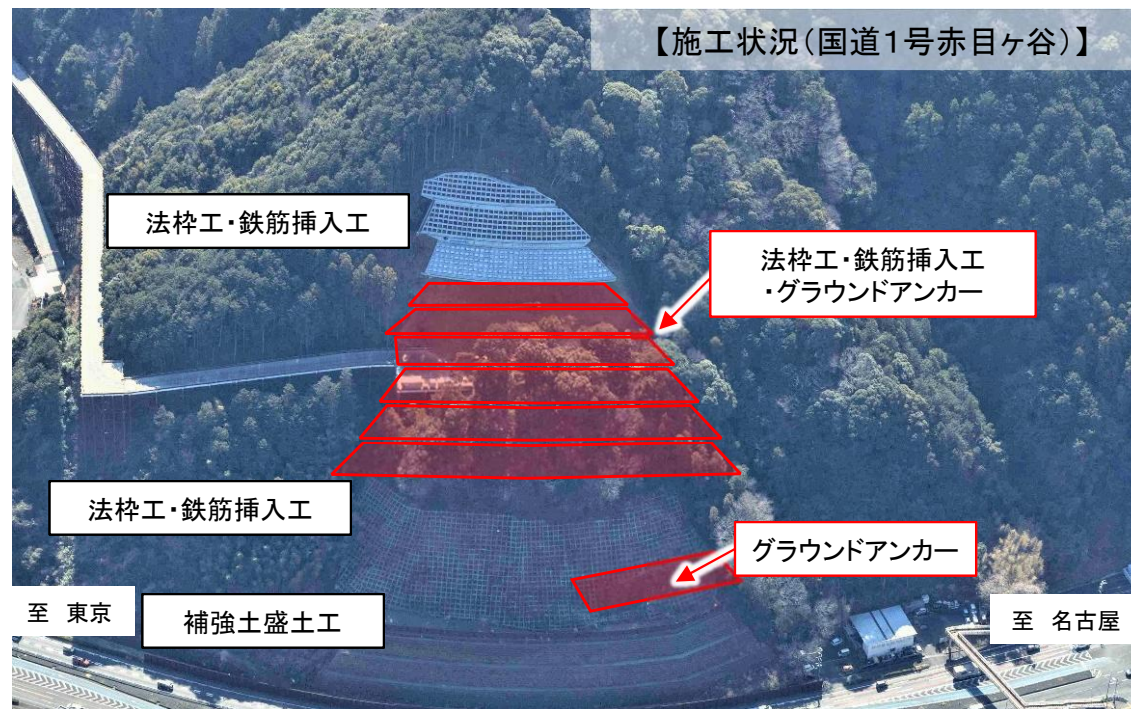
令和8年度は、  
 ・国道1号岡部バイパスの静岡市駿河区赤目ヶ谷地区において、法面防災工事を推進  
 ・国道52号において、要対策箇所における防災工事を推進 等

令和7年度末時点防災点検結果

	路線	判定(管理レベル)	
		I・II	III・IV(要対策箇所)
静岡 維持 (出)	国道1号	77	静岡市駿河区赤目ヶ谷: 1 藤枝市時ヶ谷: 1 島田市阿知ヶ谷: 1
	国道52号	83	富士宮市内房: 3 静岡市清水区央原: 3 静岡市清水区小河内: 2
富士 維持 (出)	国道1号	1	-
	国道139号	16	-
箇所数合計		177	11

**令和8年度の主な事業内容**

- ◆ 国道1号 静岡市駿河区赤目ヶ谷  
→ 法枠工・鉄筋挿入工・グラウンドアンカー
- ◆ 国道52号 静岡市清水区央原  
→ 横断函渠工
- ◆ 国道52号 静岡市清水区内房  
→ 土砂流出防止柵・落石防護柵工



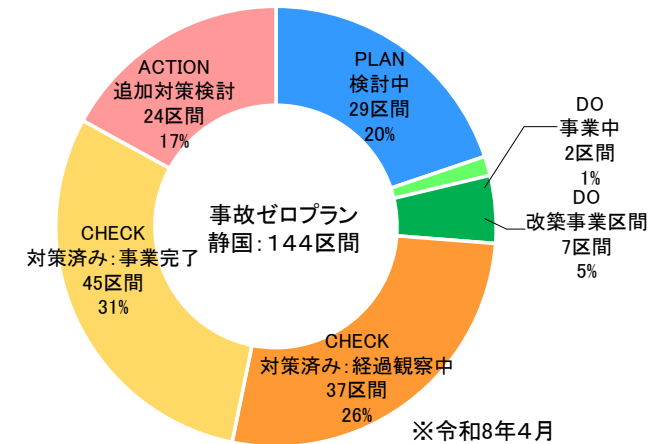
# 10 交通安全の推進

## ○令和8年度の主な事業箇所



- ### 令和8年度の主な事業内容
- ①【国道139号 広見IC交差点改良】 効果検証(R7整備)  
静岡県富士市伝法  
＜対策内容＞・下り線(北向き)オフランプ2車線化
  - ②【国道139号 富士宮通行空間整備】 用地調査・取得・一部工事着手  
静岡県富士市猪之頭～根原  
＜対策内容＞・自転車通行帯整備
  - ③【国道1号 川辺交差点改良】 工事実施  
静岡県静岡市葵区川辺町  
＜対策内容＞・左折レーンの追...
  - ④【国道1号 廻沢口交差点事故対策整備】 工事実施  
静岡県藤枝市岡部町  
＜対策内容＞・注意喚起看板、路面標示・カラー...
  - ⑤【国道52号 小河内地区通学路安全対策】 工事実施  
静岡県静岡市小河内  
＜対策内容＞・ポストコーン・カラー舗装
  - ⑥【国道1号 道の駅「(仮称)蒲原」整備】 R8新規事業化 調査設計  
静岡県静岡市清水区蒲原  
＜対策内容＞・直轄一体型道の駅整備
  - ⑦【社会資本整備重点計画 第6次事故危険箇所の対策検討】  
R7年度に静岡国道管内での登録予定箇所として26箇所抽出  
R8年度は事故の分析、対策の検討を実施

《静岡国道管内の事故ゼロプラン区間数》



### 事故ゼロプラン

- 事故データや地域の声に基づき交通事故の危険性が高い区間を「事故危険区間」として選定し、事故要因に即した対策を重点的・集中的に講じることにより効率的・効果的な交通事故対策を推進
- 単に選定区間の対策を実施するだけではなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで成果を上げていくPDCAサイクルで実施

対策立案(P/Plan)～対策実施(D/Do)～効果評価(C/Check)～追加対策検討(A/Action)

# 10 交通安全の推進

## ○生活道路対策の取り組み(各自治体への支援)

- 生活道路における人優先の安全・安心な通行空間整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスを組み合わせて交通安全の向上を図る『ゾーン30プラス』が令和3年よりスタート
- 令和7年度は、ゾーン30プラスのモデル地区の整備計画に向けて、また通学路の安全対策検討のため、交通分析結果を提供。令和8年度も引き続き要請に応じ技術支援を実施

ゾーン30プラス登録状況

令和8年3月時点

No.	自治体	地区名	登録年度	整備年度	効果検証	支援内容
1	静岡市	清水区 鶴舞町 (入江西)	R3	R3	R5	交通分析結果の提供
2	静岡市	清水区 入江東	R4	R4	R5	交通分析結果の提供
3	静岡市	駿河区 中田	R4	R5	R6	交通分析結果の提供
4	藤枝市	岡部町 三輪	R6	-	-	交通分析結果の提供,WS 参画

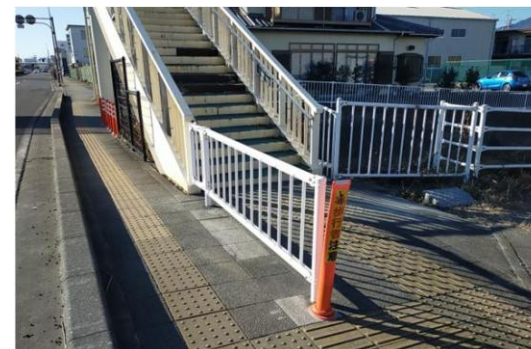
## ○令和7年度の支援状況

■分析支援実施エリア(9地区に対しETC2.0プローブデータによる交通分析支援を実施)

分析支援	分析実施地区		支援内容
現況交通分析	静岡市	清水区 桜が丘地区	ゾーン30プラス策定に向けての検討の支援
	静岡市	葵区長沼地区	
	静岡市	駒形小学校地区 ほか6地区	通学路対策の検討の支援

## ○通学路安全対策

■通学路安全プログラムより国道の対策を実施



# 11 無電柱化の推進

## ○令和8年度の主な事業箇所

○国道139号における災害時の緊急輸送道路確保を目的に、防災拠点となる富士宮市民体育館と新富士ICを結ぶ区間の無電柱化について、電線共同溝の整備により推進

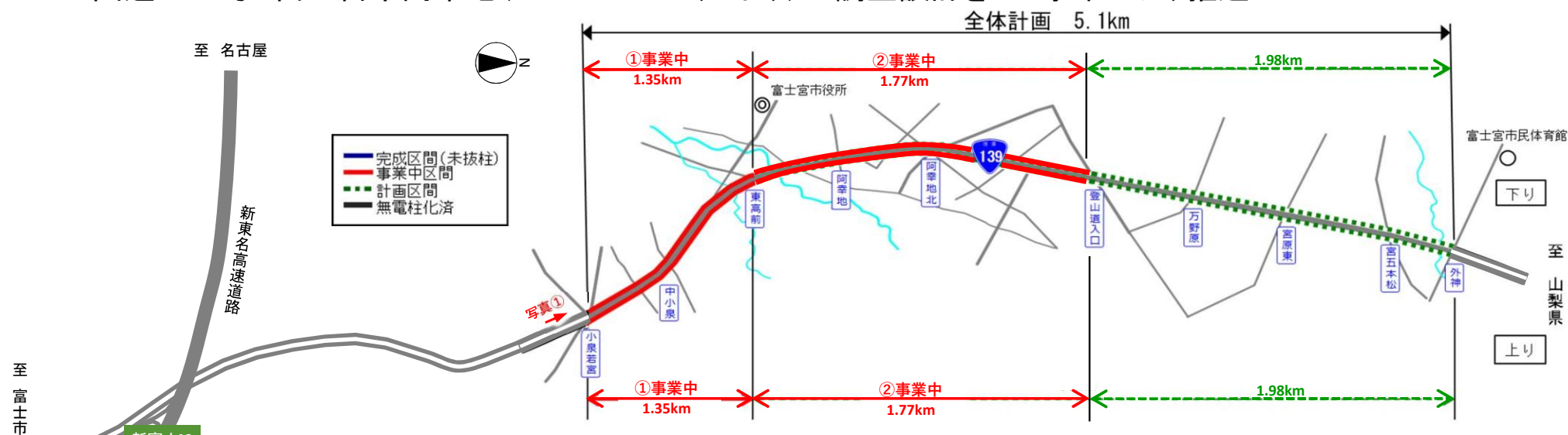
○令和8年度は2区間において事業を推進

①小泉電線共同溝事業(令和5年度事業化)

・国道139号 富士宮市小泉(L=2.7km 上り・下り)の本体工事、支障物移転を推進

②阿幸地電線共同溝事業(令和7年度事業化)

・国道139号 富士宮市阿幸地(L=3.5km 上り・下り)の調査設計をPFI事業により推進



①国道139号 小泉電線共同溝  
《現地状況》

小泉若宮

イメージ図

【整備効果】(国道1号 駿河区中吉田の事例)

整備前

整備後

# 12 標識改善

○標識改善の取り組みとして、訪日外国人旅行者の増加や道路のネットワーク強化に対し、分かりやすい道路標識となるように、道路標識改善の「取組方針(重点整備エリアと対象路線)」を策定

○令和7年度に対象エリア・対象路線から改善必要箇所抽出。令和8年度より、標識改善を実施

## ■ 標識改善の取り組み



改善内容は以下の4種類  
 A: 英語表記の改善  
 B: ピクトグラムの活用  
 C: 通称名表記の統一  
 D: 観光エリアへの案内誘導強化

● : 主要な観光地  
 ★ : 主要な交通結節点  
 (富士山静岡空港・清水港・新幹線駅)



ピクトグラムの活用(道の駅「宇津ノ谷峠」EV標識)

## ■ 取組内容

○英語表記の改善

- ・英字サイズの拡大(日本語の高さの65%)。
- ・外国人利用者が理解できる英語表記。



英語表記の改善

○ピクトグラムの活用

- ・JIS化されたピクトグラムへの統一



ピクトグラムの活用

○通称名表記の統一

- ・複数表現のある英語名称の統一



<イメージ>

○観光エリアへの案内誘導強化

- ・「観光地に隣接する」または「観光地へのアクセス道路入口となる」交差点に 観光地の名称を表示。



# 13 住民参加型の道路管理

## ○ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

○VSPとは、地域や企業の皆さんに道路の美化清掃に参加していただき、快適な道づくりを推進するプログラム。  
 ○VSP協定を締結した実施団体において、道路の清掃・除草、緑化、安全点検等に関する活動を継続的に実施。

### ■静岡国道事務所管内で活動中の団体（19団体）

協定締結日	団体名	活動場所
H14.8.19	大岩4丁目町内会	国道1号 静岡市葵区内
H19.11.22	(株)ニッケーコー	国道1号 静岡市駿河内
H22.12.15	藤田電気(株)	国道1号 静岡市葵区～駿河区内
H25.10.17	(一社)静岡県設備協会	国道1号 静岡市葵区内
H27.3.30	セイトー(株)	国道1号 静岡市葵区～駿河区内
H27.7.28	富士山朝霧高原景観管理協議会	国道139号 富士宮市内
H28.7.4	えんの会	国道139号 富士宮市内
H29.9.14	(一社)静岡県トラック協会中部支部	国道1号 藤枝市内
H30.11.21	国際航業(株)中部支社	国道1号 静岡市葵区内
R3.11.2	(株)ナガシマ電子	国道1号 静岡市駿河区内
R3.11.15	(株)NIPPO静岡統括事業所	国道1号 静岡市駿河区内
R3.11.15	静岡中央建設(株)	国道1号 静岡市駿河区内
R3.12.17	朝霧メイプルファーム(有)	国道139号 富士宮市麓地先
R4.8.8	遠藤建設(株)	国道1号 富士市市内
R4.8.23	(合)イデオモーター	国道1号 静岡市清水区内
R4.8.23	ケルヒャージャパン(株)	管内の国道のうち一部分
R4.11.11	静和工業(株)	国道1号 静岡市葵区内
R6.12.4	興津地区まちづくり推進委員会	国道52号 静岡市清水区内
R6.12.4	(株)橋本組	国道1号 藤枝市内

＜清掃・除草活動＞



(株)ナガシマ電子



(合)イデオモーター



遠藤建設(株)



静和工業(株)



＜安全点検＞  
国際航業(株)



＜緑化活動＞  
大岩4丁目町内会



(一社)静岡県設備協会



セイトー(株)

# 13 住民参加型の道路管理

## ○道路協力団体

- 道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援。
- 道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を推進。
- 地域の方々や有識者と意見交換を行い、団体としての活動を持続可能にする手法を検討。

<トピックス>



道路協力団体

令和4年12月にロゴマークが決定

### ■静岡国道事務所管内の道路協力団体

道路協力団体名	あさぎり 富士山朝霧高原景観管理協議会	まりこ 特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会
初回指定日	平成28年12月27日(火)	令和3年1月18日(月)
指定区間	国道139号 28k400(富士宮市猪之頭)～ 36k250(同市根原)	国道1号 187k300(静岡市駿河区丸子)～ 191k900(藤枝市岡部町岡部)
業務内容	(1号業務)歩道等の除草・清掃 (2号業務)募金活動、活動応援自動販売機の設置 バイシクルスタンド設置 (4号業務)集約案内サインの設置(研究) (5号業務)富士山一周サイクリングルートの整備を 踏まえた修景活動の検討	(1号業務)道路清掃・花壇整備 (2号業務)自動販売機設置、オープンカフェ・朝市、 道路案内設備整備、予約駐車場 (3号業務)駐車場パトロール・注意看板設置 (5号業務)ワークショップ、HPを活動した広報活動

■除草・清掃(朝霧高原)



写真：R7.10月撮影

■バイシクルスタンドの設置  
(朝霧高原)



■ワークショップ(宇津ノ谷峠)



■やじきたウォークin 宇津ノ谷  
内容:宇津ノ谷峠の歴史や文化を楽しむイベント  
【秋】11月16日 参加者80名

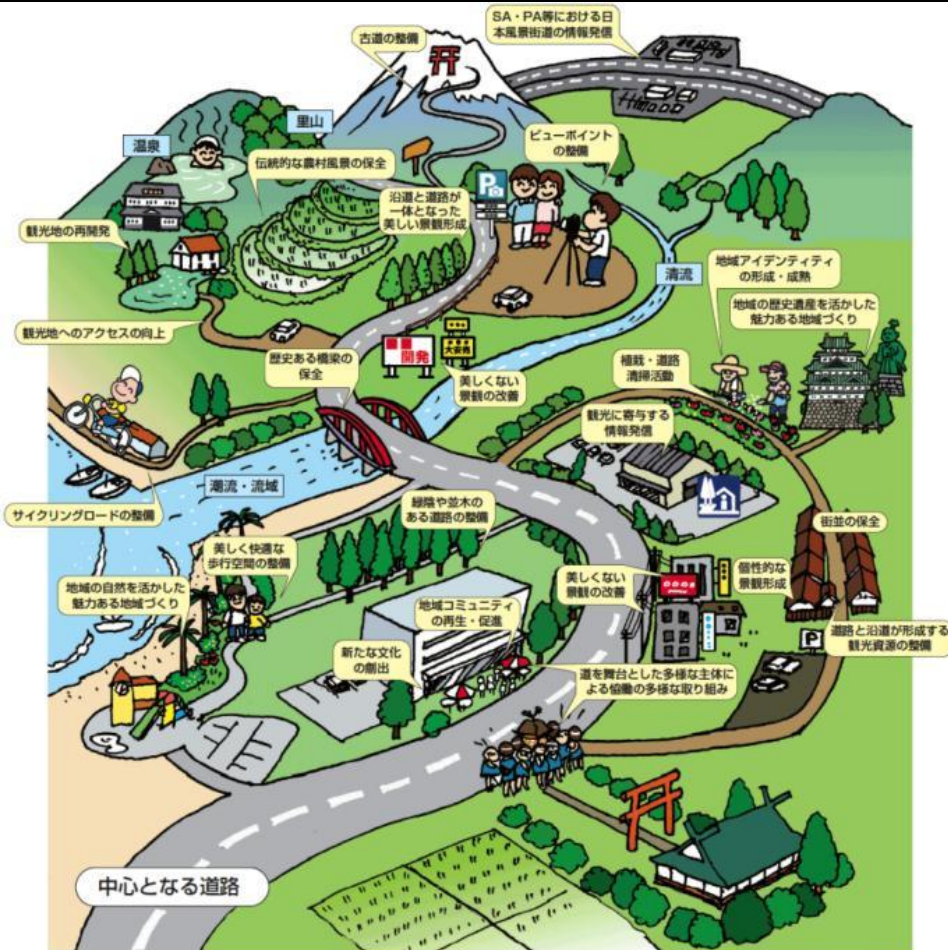


# 14 道路を活かした地域の活性化

## ○日本風景街道

○郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、地域活性化、観光振興、美しい国土の形成を目指す取組。

○令和8年2月現在、全国で147ルートが登録。  
静岡国道管内では3ルートの活動を支援。



日本風景街道のイメージ

## ぐるり富士山風景街道

富士山の見える道風景、富士山をぐるりと巡る道風景を守り・創り・伝えていく

霊峰富士を巡る幾筋もの道には、日本人の祈りの風景があり、それを支えた暮らしの風景があります。春夏秋冬、さまざまな角度から眺める富士の姿は美しい。

「ぐるり富士山風景街道」は、その名のとおり、国道138号、139号、469号をつないでぐるりと富士山麓を一周するルートが主軸になっている。

### 地域の活動推進体制

■ぐるり富士山風景街道  
NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人まちづくりトッパーナーふじのみや本舗、富士山朝霧高原景観管理協議会等29団体(静岡県側)、行政機関

### 地元の取組・活動

富士宮市朝霧地区や御殿場市及び小山町では、地域の方々を中心に、転落防止柵の茶色への塗り替え、除草・ゴミの清掃や花の植替えによる環境美化活動など優れた景観を守る活動を行っている。



# 14 道路を活かした地域の活性化

## ○日本風景街道

### するが 東海道「駿河2峠6宿風景街道」

東海道と富士山、宿場と峠を満喫する

江戸時代、五街道のうち最も重要な街道だった東海道。静岡市には、その東海道の宿場が6宿（蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子）あり、当時の町並みや史跡など歴史的な文化を残している。さらに、歌川広重が見た東海道の風景が現在でも唯一眺望できる薩埵峠と、伊勢物語の舞台にもなった宇津ノ谷峠がある。

富士山の絶景が楽しめ、ウォーキングに最適。ナショナルサイクルルートに認定された太平洋岸自転車道もこの道と重なっており、サイクリングも楽しめる。

### おおいがわ 大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」

南アルプスの豊かな自然・お茶街道の魅力を満喫

南アルプスや大井川などの雄大な景観、四季折々の見所が満載で、桜の名所、映画ロケ地の駅舎、美しい景観に囲まれた温泉などの豊富な地域資源が楽しめる。SLや日本唯一のAPT式鉄道で行く大井川流域の旅は最高。

さらに、東海道の難所として知られた大井川流域に育んでいる宿場町（島田宿・金谷宿）の歴史や駿河神楽などの伝統文化の資源も満載。又、牧之原台地から始まる大井川筋は「お茶街道」となっており、見て、飲んで、体験できるお茶の街道としても楽しめる。

#### 地域の活動推進体制

##### ■静岡二峠六宿街道観光協議会

NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人丸子まちづくり協議会、しずおか街道観光研究会等22団体、郷土史家（学識経験者等）1名、行政機関

#### 地元の取組・活動

町内会、ビルの管理者、企業、地域の住民、国、県、市など、様々な方々の協力を得て、案内サインの設置、ベンチ等の塗り替え、さらに石碑の修景、解説マップ等の情報発信など、旧東海道の「まち磨き」を行い、「魅力ある2峠6宿」を育てている。

#### 地域の活動推進体制

##### ■大井川流域エコ・アウトドアツーリズム協議会 観光協会 3団体、行政機関

#### 地元の取組・活動

新東名「島田金谷IC」降りてすぐにある「KADODE OOIGAWA」では、大井川流域の緑茶・農業・観光を「飲んで、食べて、買って、体験して」楽しむことができる。



# 14 道路を生かした地域の活性化

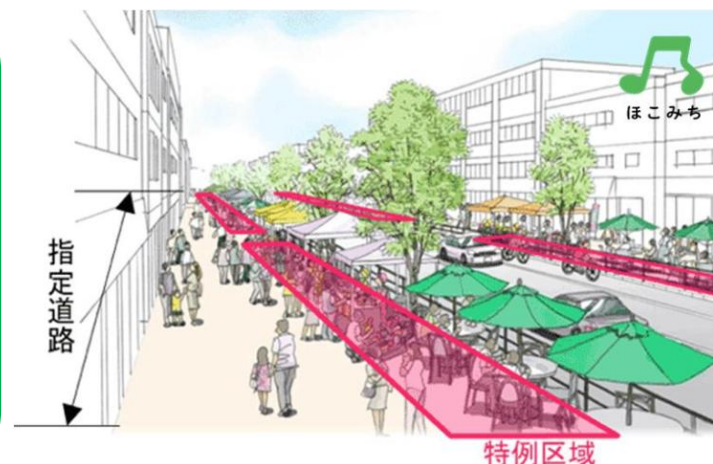
## ○道路占用許可制度の弾力的取り扱いによる地域活性化

- 路上イベントに伴う道路占用許可の弾力的な判断や、「ほこみち」制度の活用により、地域の活性化に資する取り組みを支援する。
- 令和8年度は、静岡駅周辺の交通拠点の機能強化・再編の検討で目指す、静岡駅北口の賑わい創出の早期の取り組みとして一般国道1号「しずマチ」の利活用について地域や関係自治体と検討していく。

「ほこみち(歩行者利便増進道路)」制度とは？

- 歩行者にとって、道路を便利で賑わいあふれる空間として、創り出すための指定制度。令和2年度の道路法改正により創設。
- 「ほこみち」として指定する道路において、「特例区域」を指定することにより、道路空間を活用する際に必要となる、「道路占用(※1)」の許可にあたって、「無余地性(※2)」と呼ばれる基準が除外され、柔軟に許可を受けられる。

- ※1 道路管理者以外の者が、道路の区域に“モノ”を設置し、継続して使用すること
- ※2 道路の区域以外に、“モノ”を置く余地がなく、道路に置くことがやむを得ない場合のみ許可する、という基準



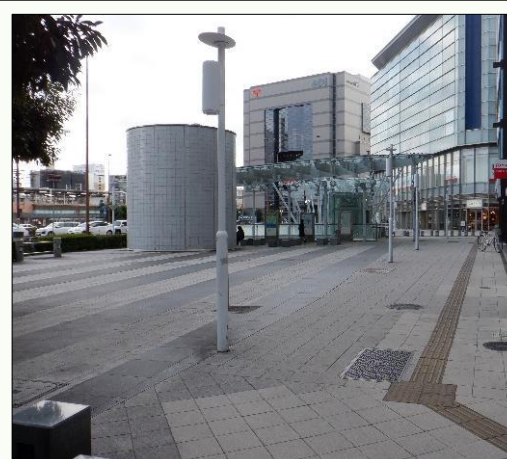
■「ほこみち」に指定された「特例区域」のイメージ



一般国道139号道の駅「朝霧高原」の様子  
(ほこみち指定箇所)



JR静岡駅周辺地図



一般国道1号「しずマチ」



「しずマチ」における大道芸ワールドカップの様子  
(路上イベントに伴う道路占用許可の弾力的判断)

# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○静岡県自転車ネットワーク計画調整会議

- 自転車活用推進法(平成28年法律第113号)に基づき、地方版自転車活用推進計画の策定が進んでいるところであるが、一層の自転車活用推進に向けた自転車ネットワーク整備が必要であることを鑑み、国、地方公共団体及び都道府県警察が連携し、相互調整や計画策定の働きかけ、取組への支援等を実施する場として都道府県ごとに自転車ネットワーク計画調整会議を設立。
- 令和7年度は静岡県自転車ネットワーク計画調整会議の設立に先立ち準備会を開催した。令和8年度は第1回会議を開催し、**※自転車ネットワーク計画**策定に向けた取り組みを支援する。

### ※自転車ネットワーク計画

安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態等を示した計画を「自転車ネットワーク計画」という。

※ネットワーク路線の例

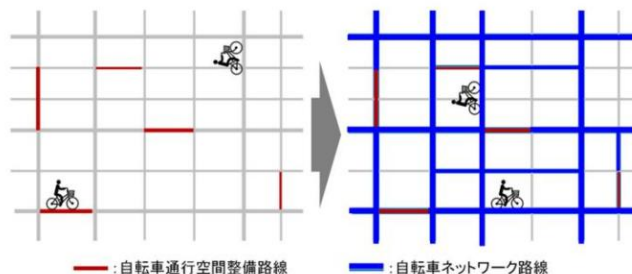
公共交通施設・学校・商業施設・主な居住地区などを結ぶ路線、歩行者との錯綜・事故の多い路線など

#### ○策定主体

- ・市町村が道路管理者や都道府県警察等と共同で策定

#### ○ネットワーク計画に記載する内容

- ・基本方針、計画目標
- ・計画エリア
- ・自転車ネットワーク路線と整備形態
- ・整備優先度の考え方



【連続的な自転車ネットワークの形成イメージ】

### 自転車ネットワーク計画調整会議の目的・役割



自転車ネットワーク計画の策定及び整備に向けて意見交換・情報共有等を行う。

#### ✓ 自転車ネットワーク計画の策定等に関すること

自転車ネットワーク計画の新規策定、更新手法の共有

#### ✓ 自転車利用・事故の状況等に関すること

利用目的や交通事故発生状況等の分析など

#### ✓ 政策や動向等に関すること

次期自転車活用推進計画や各種委員会※に関する情報提供  
※安全で快適な自転車等利用環境の向上に関する委員会 など

#### ✓ その他必要と認められること

広域的なサイクルルート、シェアサイクルの検討 など

### 自転車ネットワーク路線

自転車の車道通行を基本とし、安全かつ円滑な交通を確保できる空間を連続的に提供する自転車ネットワークを構成する路線をいう。

#### 現状

自転車ネットワークに関する計画が位置付けられた

自転車活用推進計画を策定した市区町村数



#### 課題

自転車ネットワーク計画の策定済み自治体はDIDを有する自治体数と比べても少なく、更なる自転車ネットワーク計画の策定促進が必要

# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○太平洋岸自転車道

- 太平洋岸自転車道は、千葉県から静岡県を通り、和歌山県に至る延長約1,400kmの自転車道で、令和3年5月31日にナショナルサイクルルート(NCR)に指定。
- 令和6年度は地区協議会を開催しNCR指定から3年経過した現在の状況や課題を静岡県など沿線自治体と共有。
- 令和8年度は「安全点検の手引き(案)」に基づき、適正な自転車走行環境整備及び維持に努める。

### ■太平洋岸自転車道ルート図



### ■安全点検のチェック項目(案)

(一般利用者向け) チェック項目	
1)路面状態	路面の凹凸、バンク原因となる落下物、砂や落葉等の溜りなどにより危険性を感じるか
2)走行空間	走行の妨げとなる植栽・道路施設(防護柵など)や、道路からの転落などの危険性を感じるか
3)注意喚起	急な坂・トンネル・橋梁や、自動車・人の通行が多い箇所などにおいて「注意を促す看板」がなく危険性を感じるか
4)案内誘導	目的地・分かれ道や、拠点しつなどへの案内が足りないと感じるか  多言語(日本語と英語)やピクトグラム案内が足りないと感じるか  標識や路面標示の劣化はあるか
5)その他	上記以外に気づいた点

(道路管理者向け) チェック項目	
舗装・路面	未舗装、ひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差
落下物	バンクの原因となるガラス破片・釘の散乱、通行の妨げになる落下物
堆積物	砂や落葉等の堆積物
植栽	植栽の通行空間へのはみ出し等
附帯施設	走行の妨げになる道路附属物(柵、標識、車止め等)
防護柵	路外転落を防ぐための防護柵・転落防止柵の不足
老朽化	施設の老朽化や損傷している箇所はあるか
道路構造への注意喚起	トンネル、橋梁部、急勾配箇所等の注意喚起の不足
歩行者・自転車の注意喚起	歩行者・自動車が多い等の注意喚起の不足
経路案内	経路、分岐点、距離に関する案内表示・ピクトグラムの不足箇所はあるか
拠点案内	拠点(サイクリストに優しい施設)への案内に不足箇所はあるか(サイクルステーション、トイレ、ビュースポット等への一定間隔の案内)
多言語案内・ピクトグラム表示	多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内の不足箇所はあるか
案内表示の劣化	案内表示や矢羽根等の劣化はあるか
その他	上記以外に気づいた点

### ■太平洋岸自転車道の取組

**A 案内看板**

**B 路面表示**

**矢羽根型路面表示**

自転車の通行位置を自転車利用者とドライバーに示すため、矢羽根型路面表示を設置しています。

**C 路線マップ・ホームページによる広報** ホームページでは、googleマップによるルート案内や地域情報リンク等を公開。

### ■安全点検検討会構成

沿線自治体	静岡県、静岡市、富士市
警察	静岡県警
地域関係者	レバンテフジ静岡 ふじのくにeastサイクリストクラブ
学識経験者	埼玉大学 久保田教授 東海大学 鈴木准教授
事務局	国土交通省静岡国道事務所

# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○富士山一周サイクリングルート(フジイチ)

○ぐるり富士山風景街道の取り組みの中で、富士山を一周するサイクリングルートの静岡県側の推奨ルートを、太平洋岸自転車道との接続ルートや活動拠点への引込ルートとともに関係機関と調整し、令和3年6月に設定

○令和5年8月に静岡県と山梨県で「ぐるり富士山サイクルツーリズム協議会」を設立、令和6年3月に「フジイチ」ルートを決定。令和8年度は引き続き、静岡国道事務所においても安全で快適な自転車通行空間の環境整備の推進やナショナルサイクルルート(NCR)指定に向けた自治体の活動を支援。



案内標識・路面標示・矢羽根を施工



国道139号から富士山を望む



出典：R6.6 ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会



案内標識・路面標示等の整備イメージ



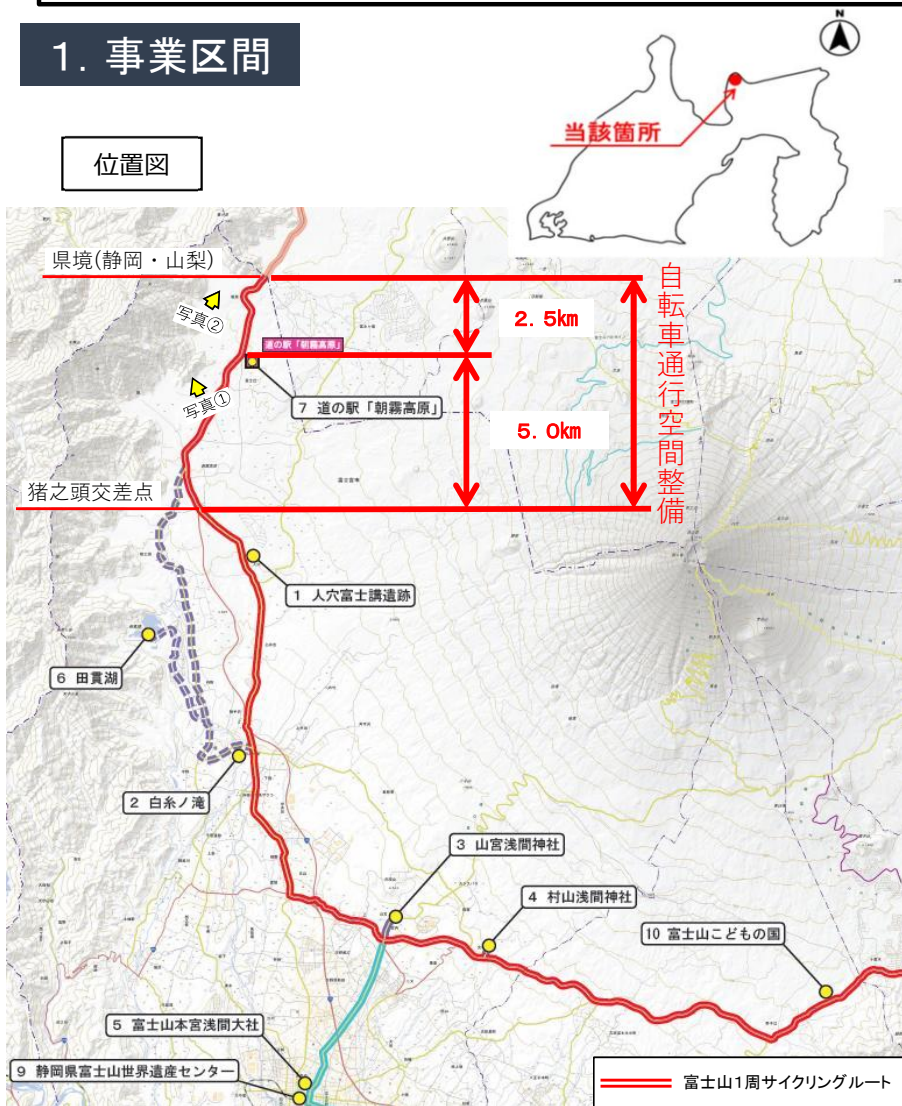
「フジイチ」のロゴマーク  
(令和6年2月決定)

# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○富士宮通行空間整備の概要

- 国道139号においては、朝霧地区の自治会および道路協力団体との議論を踏まえて、学童を含む歩行者及び自転車の安全・安心な通行空間整備(歩行者・自転車交通分離)を目的として、観光サイクリストの受入環境の整備をする富士宮地区通行空間整備を令和4年度から事業化
- 5.0km区間においては、令和8年度も用地手続きを継続し、一部で工事を着手
- 2.5km区間においては、令和8年度に用地調査(権利者調査)を実施

### 1. 事業区間



### 2. 現況



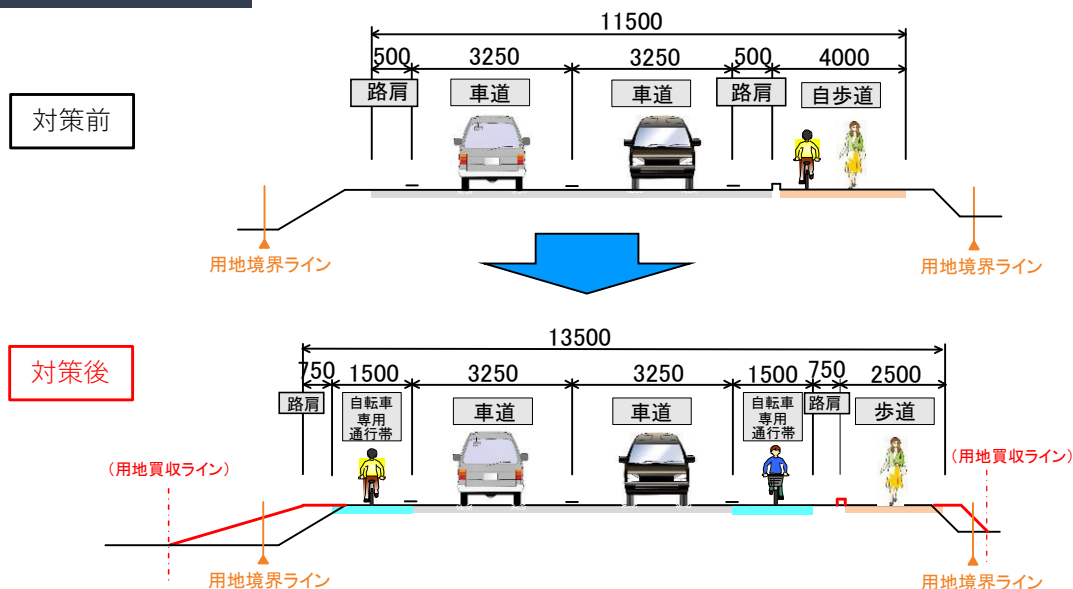
写真①：自転車通行空間整備箇所



写真②：自転車通行空間整備箇所

### 3. 対策内容

自転車専用通行帯の整備(上り線・下り線)



# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○大井川流域のサイクリングルート

○日本風景街道『大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」』の取組で、サイクリスト向け設備やルートの整備を通し、大井川流域のサイクルツーリズムを推進。

○令和6年に「大井川流域サイクルツーリズム協議会」にて、サイクリングルートのマップを作成。道の駅や観光案内所などで配布・広報しており、サイクルツーリズムの更なる発展を図る。令和8年度は引き続き活動を支援する。

### ■大井川流域のサイクリングコース

道の駅川根温泉から見る大井川を渡るSL

ほうらいばし  
世界一長い木造歩道橋「蓬萊橋」

かどで  
大井川鐵道門出駅に隣接する体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」

出展：島田市観光協会HP

### ■サイクリスト向け設備のある施設

道の駅川根温泉（サイクルラック）

KADODE OOIGAWA（サイクルラック・空気入）

出展：島田市観光協会HP  
川根文化センター（レンタサイクル）

### ■サイクリングマップ

大井川流域  
Cycling MAP

～島田市エリア周遊ver～

大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」

# 16 地域への情報発信

- ホームページやSNS、地域広報誌等を活用し事業内容や進捗状況等を発信。
- ホームページでは記者発表資料や緊急情報のほか、静岡国道事務所の各事業の概要や進捗状況などを適宜更新し、知りたい情報を正確に提供することを実施。
- SNSを活用し、工事による交通規制の案内、災害による通行止めや被災・復旧の状況、今後の見通し等を道路利用者へリアルタイムで情報提供。事後広報として、工事による成果や交通規制協力への感謝を伝える広報を実施し事業への理解を向上。(フォロワー数3.5万人※令和8年2月時点)

## ホームページ・地域広報誌

- ・ホームページでは記者発表のほか、道路状況の分かるライブカメラ画像や各事業、施策の進捗状況などを掲載
- ・外部イベントへ出展を通じて事業紹介を行うことにより、地域の方へ興味を持っていただき、開通への機運を醸成する
- ・地域広報誌等を活用し、親しみやすい表現で事業内容を発信することで、道路事業への興味を促進

### ■ 静岡国道事務所ホームページ



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/index.html>

### ■ イベントでの事業紹介 (しずおか建設まつり)



### ■ 事業進捗 (清水立体)



### ■ 地域広報誌を活用した地域へのお知らせ



## SNS(X:旧Twitter)

- ・Xではリアルタイムで工事や災害、事故による交通規制情報や、被災、復旧、今後の見通し等を発信し、動画投稿を増やすことで必要な情報を効果的に道路利用者に発信
- ・道路に関する豆知識や道路にある珍しいもの、また観光情報などエンタメ性の高い情報を提供し、エンゲージメント増加を図る

### ■ タイムラプス動画の発信



### ■ 被災状況動画の発信



趣波の動画を見られます！

### ■ 観光情報



### ■ 道路に関する豆知識



[https://x.com/mlit\\_shizukoku/](https://x.com/mlit_shizukoku/)

# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ○担い手確保・育成

- 建設業においては、高齢化による技能労働者の大量離職や若手技術者の減少など、深刻な担い手不足が見込まれることから、将来を担う若者の入職・定着を促し、人材を確保することが重要。
- 暮らしを支えるインフラへの理解促進や興味・関心を惹くことによって地域の担い手を確保することを目的に、イベント等を通じて地元住民や小学生等を対象とした広報活動や、学生向けのリクルートの取り組みを実施。
- 事務所の若手職員に対して、技術力継承のための現場を活用した施工技術研修やインフラ点検勉強会、他機関との共同研修のほか、災害時に活躍が期待されるドローンの操縦訓練など、若手技術者としての育成を図る。

### ■担い手確保

○小学生から大学生に至るまで、現場見学会や出前講座、業務説明会、インターシップの受入れ等を実施。



現場見学会 (高校生)



現場見学会 (大学生)



業務説明会 (高校生)



出前講座 (小学生・保護者)

○建設車両の乗車体験や事業ブース出展によるPRを通して、親子連れ等に、建設業を身近に体感。



「静岡はたらくクルマ展2025」



採用情報チャシ・ポータルサイト

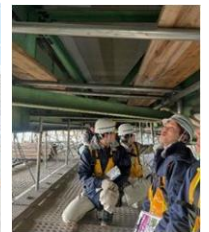
○道路インフラ維持の持続的な確立に向け、土木系学生が各自治体の採用情報へアクセスし易くなるよう、「静岡県道路メンテナンス会議」を通して、学生向け採用案内チラシ・パンフの作成や県内の職員採用情報ポータルサイトを設置。採用情報を定期的に更新し、HPで最新情報を発信するほか、イベント時にはPR動画の放映やチラシ等の配布を実施。

### ■担い手育成

○若手職員の技術力継承のため、直轄工事の施工現場を活用した「施工技術研修」を年間を通して実施。



施工技術研修



遮断機操作訓練

○災害に備えて、若手職員を対象にした災害対策用機械や遮断機の操作訓練のほか、ドローン操作訓練を実施。



ドローン操作訓練

○若手職員の技術力研鑽を目的に、他事務所との相互の現場見学会や、土木工事に必要な材料の製造過程を身に付けるため、工場見学会を開催。



他事務所との現場見学会



アスファルト工場試験練り

○道路インフラの予防保全・老朽化対策の技術力向上のため、若手職員向けに現場研修主体のメンテナンス系点検勉強会を複数回開催。



メンテナンス系点検勉強会



# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ○働き方改革

- 建設産業における働き方改革については、長時間労働の是正や週休2日の確保が必要であり、国土交通省として、週休2日工事の拡大を推進。
- 現場レベルでの働き方改革を進めるため、受注者が作成する書類の削減や受注者との意見交換、ウィークリースタンスなどに取り組む。
- 事務所若手職員が働き方改革について検討し、オフィスリノベーションをはじめとする執務環境の改善、業務効率化やコミュニケーションの活性化を図るための取り組みを実施。今後も誰もが働きやすく、働きたいと思える魅力的な職場とするため、事務所全体で多様性を意識した働き方改革を推進。

### ■現場レベルでの建設産業の働き方改革の取り組み

- 中部地方整備局として、発注者指定による完全週休2日(土日閉所)工事の拡大を推進。
- 現場での具体的な改善策等に関し、受注企業・監理技術者等と意見交換
- ウィークリースタンス実施要領に基づき、取り組み内容について受発注者双方で確認し、施工計画書に記載し実施に努める。



受注者との意見交換

### ■静岡国道事務所における魅力的な職場づくり

- 若手職員の提案による働き方改革施策の実現
- 職員のやりがい・心理的安全性を高めるために、褒める文化を醸成
- 若手職員や女性職員の意見を取り入れた『オフィスリノベーション』
- ペーパーレスの推進と、IT技術を活用して、効率的かつ快適な『スマートオフィス化』の実現



若手職員と管理職による業務改善検討



オフィスリノベーション

# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ○安全の確保

- 労働災害の撲滅を目指して、日々の安全活動に加え、事務所全体の安全協議会の開催や安全パトロールの強化(総括監督員による安全点検、抜き打ち点検の実施、下請けの参加)など、事務所及び工事関係者が一丸となって、安全確保の取り組みを推進。
- 令和5年度に起きた痛ましい事故を二度と起こさないという決意とそれを決して忘れないために、7月6日を「しずこく安全の日」と制定。工事における作業員等の安全のみならず、道路を利用するドライバーや歩行者、沿道住民、事務所で働く職員や関係者の安全など、事務所に関わるあらゆる安全を追求。

### ■ 国道1号清水立体尾羽第2高架橋事故



令和5年7月6日 事故発生(2名死亡、6名重軽傷)  
事故調査委員会 設置  
令和5年9月22日 報告書(中間とりまとめ)  
及び再発防止策 公表

### ■ しずこく安全の日

- ・毎年7月6日を、清水立体工事事故を後世に伝えるとともに、「事故を決して忘れない」、「事故を二度と起こさない」という強い信念と決意を再確認する日として制定
- ・毎月6日に、安全意識の向上について取り組みを実施



令和7年7月7日開催 『しずこく安全の日』

### ■ 静岡国道事務所工事等安全協議会 総会(令和7年12月2日)



毎月開催 『しずこく安全意識を高める日』



安全スローガン(ポスター作成)



国土交通省  
LINE  
通報アプリ  
#9910

友だち追加は  
二次元コードから



道路の異状を発見したら  
**LINEで通報 #9910**

国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8番1号

お問い合わせ：TEL 054-250-8900（代表）・FAX 054-252-5747・E-mail：cbr-sizukoku@mlit.go.jp

静岡国道維持出張所 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷2075

TEL:054-278-5181

FAX:054-277-3467

富士国道維持出張所 〒417-0001 富士市今泉337-1

TEL:0545-52-5650

FAX:0545-57-5006

静岡国道事務所ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡国道事務所公式ツイッター @mlit\_shizukoku

道路の異状を発見したら

**道路緊急ダイヤル #9910**

全国共通 24時間受付無料



- 路面の汚れ(油・土砂)
- ガードレール等の損傷
- 路面の落下物
- 路面の穴ぼこ・段差
- 動物の死骸
- 標識等の損傷